

沖縄県

歯科医師会誌

The Journal of the Okinawa Dental Association

2024.January Vol 1



Topics

- ★新年のご挨拶 一般社団法人沖縄県歯科医師会 会長 米須 敦子
- ★年頭所感 公益社団法人日本歯科医師会 会長 高橋 英登
- ★沖縄県歯科医師会新年会 調査広報担当理事 平良 和枝
- ★受章おめでとうございます
- ★第37回沖縄県歯科医学会 学術委員会委員長 新城美由紀
- ★赤い羽根共同募金のご寄付について(お礼)
- ★登院式 沖縄歯科衛生士学校担当理事 中地 昭雄
- ★就職説明会 沖縄歯科衛生士学校担当理事 中地 昭雄



(一社)沖縄県歯科医師会



表紙写真

「首里城復興祭」

撮影者

島袋 進

content

新年のご挨拶	一般社団法人沖縄県歯科医師会 会長	米 須 敦 子	… 3
年頭所感	公益社団法人日本歯科医師会 会長	高 橋 英 登	… 4
令和5年度 沖縄県歯科医師会新年会	調査広報担当理事	平 良 和 枝	… 5
受章おめでとうございます			
令和5年度 旭日双光章		比 嘉 正 則	… 8
令和5年度 瑞宝双光章		赤 地 修	… 9
令和5年度 厚生労働大臣表彰		赤 嶺 雅 和	… 10
令和5年度 文部科学大臣表彰		当 間 淳 司	… 11
令和4年度 日本歯科医師会会員有功章表彰		砂 川 毓 雄	… 12
令和5年度 日本歯科医師会会長表彰		比 嘉 良 喬	… 13
委員会活動報告			… 18
● 県歯報告 ●			
・第37回沖縄県歯科医学会	学術委員会委員長	新 城 美由紀	… 23
● 県外報告 ●			
・第40回日本障害者歯科学会学術大会			
……………	沖縄県口腔保健医療センター 診療部長	平 塚 正 雄	… 30
・九州沖縄地区医療安全に関するワークショップ			
……………	医療管理・医業経営理事	邊土名 朝 憲	… 32
● 県内報告 ●			
・令和5年度 第2回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会			
……………	地域保健委員会委員	高 良 孔 明	… 34
・令和5年度 歯科医療従事者技術向上支援研修会	学術委員副委員長	崎 浜 秀 海	… 35
・沖縄県災害医療コーディネート研修	専務理事	屋 嘉 智 彦	… 36
□令和5年度 赤い羽根共同募金のご寄付について（お礼）			… 37
□第62回（令和5年度）全日本学校歯科保健優良校表彰学校歯科担当理事		玉 城 齊	… 38
□令和5年度 登院式	沖縄歯科衛生士学校担当理事	中 地 昭 雄	… 39
□令和5年度 奨学金授与式	沖縄歯科衛生士学校担当理事	中 地 昭 雄	… 40
□令和5年度 就職説明会	沖縄歯科衛生士学校担当理事	中 地 昭 雄	… 41
□新聞コラム			… 42
□理事会報告			… 45
□編集後記			… 50
□8020達成者認定証の発行について			… 51
□会員動向			… 53



新年のご挨拶

一般社団法人沖縄県歯科医師会 会長 米須 敦子

2024年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

元日に発生しました令和6年能登半島地震そして海上保安庁航空機と日航機との接触事故にてお亡くなりになられた方々に衷心からお悔み申し上げますと共に、被災され困難な状況に遭遇された方々の安全と一日も早い復旧復興を心からお祈りいたします。

1月13日に石川県並びに厚労省から日歯に要請がありました災害支援チーム派遣依頼に対し、9名の先生方並びに4名の歯科医衛生士の皆様にご協力いただき3チームを登録させて頂きました。ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。日頃の備えや訓練が大切であることを痛感しています。本県では、5地区並びに本館内に災害の研修会を受講した会員、病院歯科医、歯科衛生士そして歯科技工士で構成する「災害歯科支援チーム」を設置しています。昨年の台風被害等もありましたので、これを機に次年度は研修会開催の必要性を感じています。

「人材不足」は社会全体の課題です。私達歯科医療従事者の減少や不足も同様です。「医師確保・看護師確保」に主眼を置いてきた県行政とも協議を重ね歯科医療従事者の現況を理解いただいたところです。歯科医師の絶対数の不足並びに高齢化に加え、本県では研修医や口腔外科以外の専門医等を受け入れる施設は3施設のみと不足しています。受け入れ施設の充実を行政と共に協議をしています。

歯科衛生士においては、絶対数の不足や離職等の課題があります。しかし、昨年度の卒業生は、卒業アンケートの結果一人も辞めることなく就労を継続し、「楽しい」、「やりがいがある」等の肯定的な回答が大多数でした。就労先の歯科医院の環境整備並びに歯科衛生士教育の充実の賜物と感じます。しかし、不足している現況には、就業者の研修並びに復職支援事業の充実が大切です。周知および育成にご協力をお願いいたします。また、歯科衛生士学校の継続のためにも、学校の老朽化に備え、自己資金を

確保しての運用も始めています。歯科技工士に関しては、全国平均の約半分そして高齢化が進んでいます。県内には養成所もなく、研修事業にも支障をきたし、歯科界で最もIT化の進む分野で疲弊をしている状況が続いています。現役世代の事業延伸のためにも「IT活用を含めた働き方改革」を進める必要があります。その為、養成学校の開校など、安定数確保に向けて中長期的な計画が必要で検討を重ねています。

全ての歯科医療従事者の減少や不足は、超高齢社会に突入している沖縄県では、団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題、その後の2040年問題への対策として、「歯科医師バンク」等を設置し、閉院後の先生方に「現役世代の延伸」をめざしてお力を貸していただきたいと思えます。

本会には歯科口腔保健医療センターがあります。社会のニーズに対応できるよう各診療所並びに病院歯科との連携を強固にし、人材育成に大きく活用できる施設として活用できる体制づくりを進めています。

役職員一同力を合わせて取りくんでいますので是非会員の先生方のご理解並びにお力添えを宜しくお願ひ申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



年頭所感

公益社団法人日本歯科医師会 会長 高橋 英登

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年6月に新執行部が発足して、早半年が過ぎました。「骨太の方針2023」に「生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組の推進」が示され、会務を運営する中で、その実現への期待が各方面から寄せられていることを実感しています。日本歯科医師会ではタスクチームを設置し、より普及しやすい方法の検討を進めています。

日本歯科医師会の活動目的は、国民の健康増進であり、それにより国民を幸せにすることだと考えます。人生の最期の日まで「自分の口でおいしく食べることができるようにすること」に取り組み、健康な高齢者が増えれば「健康長寿社会の実現」に貢献できるだけでなく、医療費適正化にもつながります。これに欠かすことのできない我が国の国民皆保険制度を維持、また持続可能なものとすべく、より一層、国や医療関係団体等との協力関係を深化させます。地域包括ケアシステム構築の観点からも、多職種との緊密な連携は重要です。

近年、定員割れする私立の歯科大学・大学歯学部が増加、また後継者問題等で歯科医療機関が減少しており、特にその傾向は地方で顕著です。喫緊の課題として大変危惧していますが、問題解決には「歯科界全体をいかに豊かにするか」を考える必要があります。経済的な「豊か」はもちろん、いわゆるマインドや社会的な評価も含めて向上させるためにも、歯科がいかに国民の生活に資する仕事であるということこれまで以上にPRしていきます。

歯科医師法の第1条には「歯科医師は歯科医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする」と明記されています。歯科医師は日々の歯科診療だけでなく、公衆衛生活動に取り組まなければいけませんが、個人で担うことは至難の業で

あり、それ故、日本歯科医師会や地域の歯科医師会があるわけです。

現在の歯科医師国家試験の合格率を考慮すると近い将来、歯科医師が不足するのは明白です。会員の平均年齢は62歳を超え、歯科医師の働き方も多様化しており、日本歯科医師会もそれに合わせた組織体制の整備が求められています。組織力が低下すれば診療報酬改定や医療制度改革に立ち向かっていけません。また、日本歯科医師連盟が中心となって立法府を構成している国会議員へのロビー活動を行わなければ、歯科医療現場の声を届け適正な評価を得るための環境整備ができません。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金は成果の一つです。

会長就任時に申し上げた通り、日本歯科医師連盟での経験を活かして要望等を主張していく「物言う歯科医師会」、現場の開業医として会員と同じ立場で考える「身近な歯科医師会」であるというスタンスを忘れずに、今後も決意を持って前進していく所存です。

本年の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等のトリプル改定、急激な物価高騰や人件費の上昇、さらに国が進める「全国医療情報プラットフォーム」「電子カルテ情報の標準化」「診療報酬改定DX」の3つの柱によるシステム導入や運用による負担増への支援体制の構築や運用の見直し等、政府与党や財界と医療関係団体が一丸となって対話を進め、歯科が適正な評価を得られるように、そして会員が歯科医療に傾注できる環境を創生すべく全力を尽くします。私に託された想いを実現し歯科界の明るい未来を切り拓くため、粉骨砕身の覚悟で大胆な改革に取り組んでまいります。

最後に、会員および関係者のご活躍とご健勝を心よりご祈念申し上げますとともに、本年が希望多き年となるよう、停滞感の打破に向けて全力を尽くすことをお誓い申し上げ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

令和5年度

沖縄県歯科医師会新年会

沖縄県歯科医師会新年会次第

日 時:令和6年1月11日(木)午後7時

場 所:ザ・ナハテラス

司会 専務理事 屋嘉 智彦

幕開け(かぎやで風)

大城 一乃

1. 開会のことば……………専務理事 屋嘉 智彦
2. 会長挨拶……………会 長 米須 敦子
3. 役員自己紹介
4. 県知事表彰・九地連表彰・歯科医師会会長表彰
 - 県知事表彰 大西 満 新垣 善章 平良 恵信
 - 九地連表彰 砂川 英樹 津嘉山 一 加藤 進作 古堅 信
 - 会長表彰 宮城 正彦 奥住 守彦 瀬底 正司 長堂 忍 熊谷 徹
 - 歯科医療従事者表彰 新川 治 新垣 満男 新垣 江津子 荻堂 明美
5. 被表彰者代表挨拶……………比嘉 正則
6. 乾 杯……………又吉 達雄
7. 懇談・会員三味線演奏
8. 新入会員紹介
9. 閉会のことば……………副 会 長 渡慶次 彰

令和6年1月11日(木)午後7時よりホテル ザ・ナハテラスにて開催。

今回も昨年同様、「会員のみ参加」形式での開催となりました。

幕開けは、大城一乃先生による「かぎやで風」。地方(唄・三線)は金城文信先生、大城正雄先生、上原喬先生が務められ、華やかな舞台上でオープニングを飾って頂きました。

会長挨拶では冒頭1月1日元旦での能登半島地震、2日の航空機事故への哀悼の辞で始まり、続いて昨年度への感謝の言葉、新年度へ向けての抱負が述べられました。

県知事・九地連・会長表彰また医療従事者表彰のあと、比嘉正則先生に受賞者を代表してのご挨拶をいただきました。

受賞者の皆様、受賞おめでとうございます。沢山のご貢献をありがとうございました。今後のさらなるご活躍を期待しています。

また今年度新入会員10人のうち5人参加で登壇された先生方の自己紹介、ご挨拶から入会へ向けての意気込み、今後の抱負を語って頂きました。頼もしい限りです。よろしくお願い致します。

プログラム中盤での『乾杯の音頭』をとられた又吉達雄先生、乾杯のグラスを片手に「『忘年会?』おめでとう!」の第一声に会場全員が驚き!シーン。そのあとに「実は、希望を込めての『望年会』です」と続き、又吉流ユーモア発言に会場を笑いの渦にのせての盛り上がりでした。私もホッと安心、和みました。

懇談の合間には、幕開け地方の先生方再出演での三線余興で宴もたけなわ、89人の会員参加のお料理はデザートさえも残っていないという盛況ぶり、閉会の言葉を副会長渡慶次彰先生が行ない、名残惜しい余韻の残る会はお開きとなりました。

お陰様で新年度、九地連・障害者歯科学会へと向かう団結のエネルギーが湧いてまいりました。ありがとうございました。

皆さまをお見送りしての最後に役員・事務局へ 会長からの労いの言葉を頂きました。

理事として初参加の新年会は「会話と笑顔」をお土産に帰途につくことが出来ました。

参加の会員の先生方、そして準備からかたづけと最後までサポートして頂きました事務局の皆さまに感謝を込め、来年またお会いできますよう……ごきげんよう!

調査広報担当理事 平 良 和 枝

令和5年度 沖縄県歯科医師会新年会





受章おめでとうございます 令和5年度旭日双光章 比嘉正則

叙勲受章の御報告

比嘉正則

令和5年秋の叙勲を受章いたしました事を心より感謝し、ご報告させていただきます。

11月6日沖縄県知事公舎で玉城知事からの伝達式にて勲記と勲章を頂きました。

今年はコロナも収まった為、11月10日に赤坂のホテルニューオータニで再び叙勲伝達式を行い、午後に皇居宮殿内 豊明殿で天皇陛下に拝謁いたしました。

私は、沖縄市で開業して41年間沖縄県歯科医師会の一員として学校歯科医、地区委員、地区会長と諸先輩方のご指導ご協力のもと務めさせていただいた事が受章への評価になったと思っております。

推薦を頂いた米須会長、理事の皆様、事務局長の小緑さんに感謝申し上げます。



受章おめでとうございます 令和5年度 瑞宝双光章 赤地 修

叙勲受章の御報告

赤地 修

この度、令和5年秋の叙勲を受章いたしました事、たいへん名誉な事と喜んでおります。推薦いただいた県歯科医師会、そして会員の先生方に感謝申し上げます。

11月13日にホテル椿山荘東京にて伝達式、皇居宮殿にて天皇陛下への拝謁を済ませました。

昭和55年、父の後を継ぎ嘉手納で開業、平成19年にうるま市に移転から現在まで、両地域の小中高等学校の学校歯科医を務めさせていただきました。

県歯科医師会では医療管理、公衆衛生、会計の委員、中部地区歯科医師会では公衆衛生、会計の担当理事を務めさせていただきました。

今後も微力ながら歯科治療を通して地域の口腔衛生の向上、学校歯科医として生徒の安全、健康に関わって行きたいと思っております。

ありがとうございました。



受章おめでとうございます 令和5年度厚生労働大臣表彰 赤嶺雅和

厚生労働大臣表彰の御報告

赤 嶺 雅 和

この度は、厚生労働大臣表彰を受賞するにあたり心より感謝致します。

第44回全国歯科保健大会は令和5年10月14日に秋田県で開催されました。私自身膝を痛めているので、授賞式には出席できませんでしたが、後日沖縄県歯科医師会長及び3役の先生が、私の歯科医院まで御越し頂き表彰を受けることになりました。

振り返ると 口腔衛生センターの委員を約10年携わることが出来ました。これも上原淳先生のお声がけで良い経験をさせてもらいました。感謝致します。

今後も先生方のご指導を頂きながら、日々の診療に頑張りたいと思います。有難うございました。



受章おめでとうございます 令和5年度 文部科学大臣表彰 当 間 淳 司

文部科学大臣表彰の御報告

当 間 淳 司

令和5年度10月26日(木)文部科学大臣表彰の全国学校保健・安全研究大会に出席しました。

会場は兵庫県 神戸文化大ホールで全国各地より学校歯科医41名その他の受賞者150名位、同伴者・一般参加者を含めると1000人位の大会でした。

私の学校校医としての始まりは昭和60年で以後、浦添市の仲西中学校 屋富祖から城間に移転後は同市の港川小学校を平成15年頃より担当しました。

他に保育園も4～5ヶ所また協力医として浦添高校、浦添商業高校も担当しました。

現在は、数年前に院長を長女(平井有依子)に引き継ぎ日々を過ごしています。

そんな時期に今回の授賞式の案内がありました。

自分としては急な御指名と思われましたが、喜んで参加させていただきました。

昭和・平成・令和という世代を歯科検診を通して貴重な経験が出来ました。

最後に関係者の皆様本当に有難う御座いました。



受章おめでとうございます
令和4年度 日本歯科医師会会員有功章表彰
砂川 毓雄

日本歯科医師会会員有功章表彰の御報告

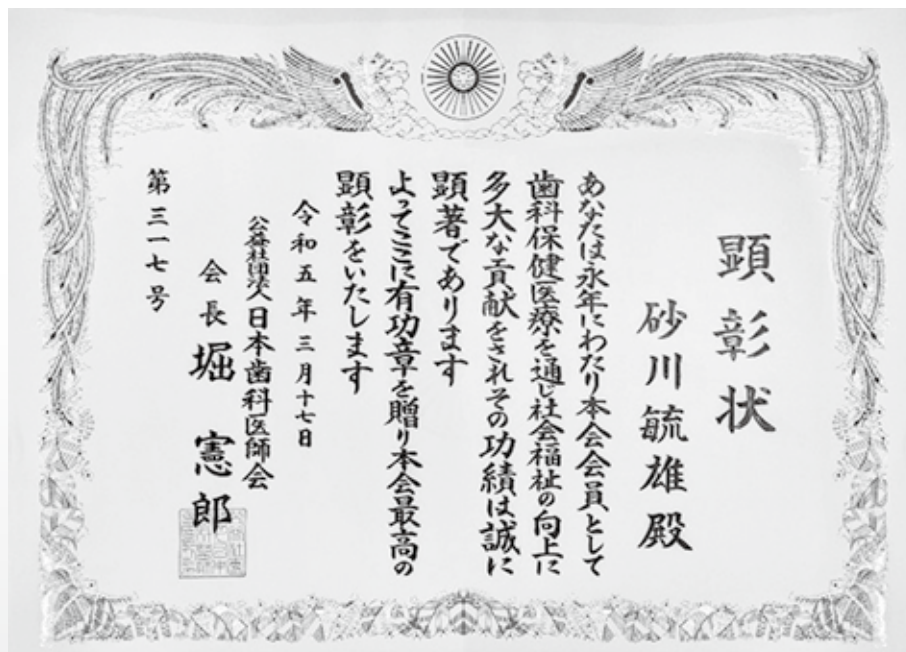
砂川 毓雄

このたび、令和4年度（2022年）日本歯科医師会会員有功章を受賞いたしました事を心より感謝し報告します。

1974年春、歯科医師会入会申し込みのため、当時、泊港南西隣の泡盛会館にあった沖縄県歯科医師会を訪ねてから2024年で50年になります。

八重山地区歯科医師会を通さず、直に県歯に来たことを“まず地区から始めよう”と諭されたことを鮮やかに覚えています。かように小生の歯科医師会会員として行状は褒められるものがなく、今日に至るまで常にさとされ続ける日々であります。

これから挫けつつも、会員の先生方の温かい指導を仰いで行きたいと思えます。



受賞おめでとうございます 令和5年度日本歯科医師会会長表彰 比嘉良喬

日本歯科医師会会長表彰の御報告

比嘉良喬

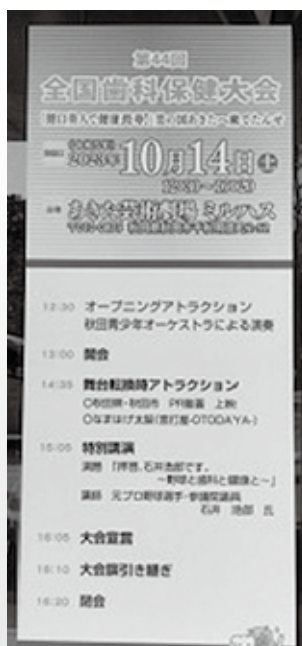
第44回全国歯科保健大会IN秋田 開催日2023年10月14日 開催場所：あきた芸術劇場ミルハス

「健口美人で健康長寿」～美の国あきたへ来てたんせ～をテーマに秋田市で開催されました。会長時代いろんな代理受賞を何度か受けてきましたが、やっと本人自身が受賞する事ができました。日本歯科医師会会長表彰に推薦をしていただいた米須敦子会長以下役員の皆さんには紙面をお借りして感謝申し上げます。



この大会は歯科保健事業功労者表彰で厚生労働大臣表彰と日本歯科医師会会長表彰が有ります。今回は厚生労働大臣表彰57名（赤嶺雅和先生）日本歯科医師会会長表彰57名と各団体表彰2団体の総勢116名が壇上に上がりますのでかなり移動などを考えると運営が大変な大会です。ふと2016年（平成28年）「2040年健康長寿世界一をめざして～みなおそう沖縄の食文化～」テーマに主催した頃を思い出しました。

今大会で大学の先輩でもあり、良き指導者の高橋英登日本歯科医師会会長より表彰していただき、終了後に多忙な中、快くツーショットを納める事が出来ました。見た目は俺が若いんだよとジョークをかまされましたが、これも愛嬌ですね。



受賞おめでとうございます

沖縄県母子保健大会県知事表彰
(母子歯科保健功労)
令和5年1月19日(木)



國吉綾子
中部地区会員

沖縄県母子保健大会会長表彰
(母子歯科保健功労)
令和5年1月19日(木)



上原かな
南部地区会員

沖縄県学校保健会会長表彰
(学校保健功労)
令和5年2月3日(金)



新垣善章
中部地区会員

沖縄県学校保健会会長表彰
(学校保健功労)
令和5年2月3日(金)



平良恵信
中部地区会員

沖縄県学校保健会会長表彰
(学校保健功労)
令和5年2月3日(金)



津嘉山 一
中部地区会員

日本学校歯科医会会長表彰
(学校歯科保健功労)
令和5年3月22日(水)



上地智博
南部地区会員

日本学校歯科医会会長表彰
(学校歯科保健功労)
令和5年3月22日(水)



古波蔵信泉
南部地区会員

日本学校歯科医会会長表彰
(学校歯科保健功労)
令和5年3月22日(水)



上原智也
南部地区会員

沖縄県公衆衛生大会県知事表彰
(公衆衛生事業功労)
令和5年3月31日(金)



照屋均
南部地区会員

受賞おめでとうございます

沖縄県公衆衛生大会長表彰
(公衆衛生事業功労)
令和5年3月31日(金)



奥住守彦
南部地区会員

那覇市政功労者表彰
(地域医療貢献)
令和5年5月20日(土)



友寄喜樹
南部地区会員

那覇地区学校保健功労者表彰
(学校保健功労)
令和5年6月8日(木)



林秀樹
南部地区会員

浦添市社会福祉大会表彰
(社会福祉事業功労)
令和5年8月4日(金)



富島修
南部地区会員

日本歯科医師会創立120周年記念表彰
(歯科保健功労)
令和5年9月14日(木)



瀬底正男
南部地区会員

日本歯科医師会創立120周年記念表彰
(歯科保健功労)
令和5年9月14日(木)



島袋侑哲
中部地区会員

日本歯科医師会創立120周年記念表彰
(歯科保健功労)
令和5年9月14日(木)



新垣義勝
南部地区会員

日本歯科医師会創立120周年記念表彰
(歯科保健功労)
令和5年9月14日(木)



上江洲紀子
南部地区会員

沖縄県公衆衛生大会県知事表彰
(公衆衛生事業功労)
令和6年1月9日(火)



比嘉良喬
南部地区会員

各種表彰

受賞おめでとうございます

沖縄県公衆衛生大会長表彰
(公衆衛生事業功労)
令和6年1月9日(火)



長 堂 忍
南部地区会員

九州地区連合歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



津嘉山 一
中部地区会員

九州地区連合歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



古 堅 信
南部地区会員

九州地区連合歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



加 藤 進 作
南部地区会員

九州地区連合歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



砂 川 英 樹
南部地区会員

沖縄県知事表彰
(保健医療功労)
令和6年1月11日(木)



大 西 満
南部地区会員

沖縄県知事表彰
(保健医療功労)
令和6年1月11日(木)



新 垣 善 章
中部地区会員

沖縄県知事表彰
(保健医療功労)
令和6年1月11日(木)



平 良 恵 信
中部地区会員

沖縄県歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



熊 谷 徹
北部地区会員

受賞おめでとうございます

沖縄県歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



宮城正彦
中部地区会員

沖縄県歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



瀬底正司
南部地区会員

沖縄県歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



長堂忍
南部地区会員

沖縄県歯科医師会会長表彰
(歯科医師会発展功労)
令和6年1月11日(木)



奥住守彦
南部地区会員

委員会活動報告

活動内容

皆様こんにちは、学術担当理事の金子智之です。当委員会は、会員の皆様の歯科医療技術及び知識の向上を目的とする委員会です。以下に今年度の当委員会の主な活動報告をさせていただきます。

1. 歯科医療従事者技術支援講習会

今年度は歯科医師対象では小児歯科について、歯科技工士対象ではデジタル歯科について、歯科衛生士対象ではシャープニングとSRPについての講習会を開催させていただきました。

2. 歯科医師認知症対応力向上研修会

沖縄県と共催で歯科医師の他に医師、ケアマネージャー、県庁から参加して頂き、認知症患者さんが歯科受診された場合の対応についての研修を行いました。

★学術委員会

担当理事

金子 智之



3. オンライン講習会への参加の促進

会員の皆様のオンライン講習会に参加を促進するために県歯からのメール等及び各地区の学術委員を通じて案内を通知させていただきました。

4. 沖縄県歯学会

今年は、会場とオンラインのハイブリッドで開催させていただきました。

★保険委員会

担当理事

外間 宏正

活動内容

毎月一度、対面・WEB等で委員会開催

指導現場の状況の報告、結果などを共有し、次の課題としてあげています。

1. 新規・集団・個別の厚労省の指導における情報収集・分析結果などを基に会員に対して適切な保険診療を行うためのルール・注意点等を助言、サポートしていく
2. 保険点数や運用上の問題、新たな部分などの情

報を他の都道府県の保険担当の先生方との意見交換を積極的に行い、会員へ情報提供していく。

3. カルテ、レセプト、明細書、提供文書等の関係性、記載方法、また管理の仕方など解釈・運用に関する研修会を開催し、会員への説明・周知などを行う。

4. 保険についての問題が生じた際には、医療管理委員会の先生方をはじめとして役員とも連携をとり、協力体制での対応・解決を行う。

現在、各県によって疑似解釈など多少相違点がみられますが、デジタル化が進むにつれ、全国的に統一される方向にあると考えられます。

それに備えて、行き着く先には、会員の指導に関しては歯科医師会で責任を以て行う事が出来るような様々な対策も考えながら活動していきたいと委員一同、毎回身の引き締まる思いで臨んでいます。

活動内容

年間を通しての会の予算策定、実行、実績報告を行っています。

委員会は不定期、必要があれば開催としています。

他に、各種厚生事業への補助も担当しています。令和6年は九地連開催、強化費用も準備していますのでお役立て下さい。

★財務厚生委員会

担当理事

眞喜屋 睦子



★学校歯科委員会

担当理事

玉城 斉



活動内容

- ①学校歯科医基礎研修会の開催（年度末、最近はハイブリッド開催）→学校歯科委員会
- ②歯と口の図画ポスターコンクール審査会→学校歯科委員会・宮良修先生
- ③歯と口の図画ポスターコンクール表彰式→南部地区委員が担当
- ④九州地区学校歯科医役員連絡協議会の参加（毎年8月開催）→理事・委員長参加
- ⑤県民健康フェアのブース（口唇力測定）担当→中部地区委員が担当
- ⑥全国学校歯科保健研究大会の参加（毎年10月頃）→委員から選出
- ⑦西原町フッ化物洗口推進座談会（2か月に一回）→委員会・西原町議・町学校歯科医
- ⑧沖縄県教育長表敬訪問（年一回）→委員会
- ⑨沖縄県教育委員会（保健体育課）と学校歯科医の待遇改善のための折衝→理事
- ⑩日本学校歯科医会 臨時委員会2（地域の歯科保健推進委員会）→理事と安里委員が担当

学校歯科委員会の委員の先生方のほとんどが地区の役職を兼任しています。月一回（第1月曜日）の委員会では、県歯理事会報告、日本学校歯科医会からの報告や、行事の分担と確認、九州地区の提出協議題の協議、各地区から出された協議事項を検討しています。

今年一年は、西原町にて「子どものむし歯を減らす施策求める決議」が町議会にて全会一致で可決したことに伴い、町議員から小中学校でのフッ化物洗口実施を推進してもらいたいとの依頼を受け、2か月に一回、西原町の町議と学校歯科医を交えて、「フッ化物洗口推進座談会」を委員会前に開催してきました。

フッ化物洗口を既に実施している、那覇市の天妃小学校と宜野湾市の大謝名小学校の実施報告や、西原町教育長表敬訪問、学校歯科医からの学校長へのアプローチ等、行ってきましたが、未だに実現には至っていない状況です。

また、待遇改善の為、県教育委員会に、健診時の帯同者の手当と特別支援学校の健診料値上げを過去の事例を示して、お願いしましたが、値上げの根拠が乏しいとの事でした。

今後も、子どもたちの保健推進と学校歯科医の待遇改善に、委員会一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

★口腔保健医療センター 運営委員会

担当理事
渡慶次 彰



活動内容

- 障害者歯科医療の充実
 - ① 専任歯科医師・協力医による診療及びセンター運営の充実
 - ② 専任・センター協力医に対する研修
 - ③ 摂食機能療法への取組
 - ④ 全身麻酔下歯科治療の充実
 - ⑤ 研修会及び健診・保健指導の充実
 - ⑥ 心身障害児（者）歯科診療拡充事業
 - ⑦ 二次医療機関としての医療的ケア児および通院困難な障害児（者）への訪問歯科診療に向けての取組
- 障害者歯科医療の研修機関としての充実
 - ① 障害者歯科地域協力医育成の継続
 - ② 日本障害者歯科学会認定医・認定歯科衛生士取得のための取組

- 地域や各障害者関連団体とのネットワークづくり
 - ① 沖縄県歯科 SUN 会議の充実
 - ② 障害者歯科普及啓発を目的とした研修会等の開催
 - ③ 障害者歯科アクティブネットワーク九州参加
- 「ねんぼう」の発刊
- 九州各県地域保健担当者会(障害者歯科関連)参加

センター運営委員会は月1回（第1月曜日）に開催し、上記の事業を行っています。現在、センター診療は、診療部長の平塚正雄先生、専任歯科麻酔医の寺元平先生、歯科衛生士5名、受付事務兼歯科助手2名、協力医16名（月1～3回）の体制ですが、コロナ感染症も5類へと移行、キャンセルも減り、新患が2か月以上待ちとなり、急募で協力医のセンター診療お願いしましたが、4名（今年度の研修会修了者）の先生の参加のみでした。25名のシフトを目標としていますので、協力医の先生方のご理解、ご協力をお願いします。新入会員の先生方には、ぜひ、センター診療見学の体験をしていただきたく、計画しているところですので、ご案内します。障害児（者）の歯科健診ができる会員がふえてほしいと願っています。

活動内容

皆様、平素より沖縄歯科衛生士学校へのご協力ありがとうございます。

運営委員会委の活動内容について紹介します。

1. 学校運営に関する事項の検討と決定
内規・細則の作成、検討、決定と学生や職員に関する様々な問題への対応
2. 学校行事に関する検討と決定
学校の様々な行事に関する決定や担当の決定
3. 学校行事への参加
担当する行事への参加と報告資料の作成、報告
4. 就職説明会の開催

★歯科衛生士学校 運営委員会

担当理事
中地 昭雄



大まかに分けると左記の内容になりますが、学校の運営に関わることはかなり多岐にわたっており、外部の有識者を交えての会議などもあります。

時代の変化とともに学校で教える内容も日々変化しており、学生募集も以前のようにはいかなくなりました。学校運営委員会は職員とともにできる限り多くの歯科衛生士を送り出すために努力してまいります。

活動内容

当委員会に於いては、次の事項を審査する。

1. 医療の管理運営の合理化に関する事項
カルテ保存、インボイス、電子帳簿保存法対応に関する情報提供、医院継承等々、
2. 医療管理に関する調査及び各種統計に関する事項
医院経営に要する電力、材料費（金属等）人件費等年度、月事の統計など調査
3. 地区歯科医師会間並びに会員間の紛議調停に関する事項
医院間のトラブル、また、高度医療機関と医院間とのトラブル時の対応等々
4. 会員の業務に関する紛議の調停及び苦情の処理
会員からの相談、患者からの相談、クレーム等の電話対応。
カルテ開示請求、医療事故、クレーム等の対応。
損害賠償保険会社との交渉、裁判事例の弁護士への引継ぎ、スタッフからの相談、労働基準局からの対応の情報提供等々

★医療管理委員会・ 医業経営委員会

担当理事
邊土名 朝憲



5. 医業経営の企画に関する事項
税務調査、キャッシュレス関係、医療広告、就業規則（パワハラ等対策）等々
6. 医療安全関連
医療事故調査、医療安全、院内感染対策（新型コロナウイルス感染症、エイズ感染症等感染対策）
医療機器の安全対策、緊急薬品紹介等々
7. その他
沖縄県防災訓練対応、歯科助手講習会、日本歯科医療管理学会への対応、医科歯科連携セミナー、保健所調査対策等々

★調査広報委員会

担当理事
平良 和枝



活動内容

当委員会は 情報収集・発信のためにも 各地区から委員を選出というスタンスの元、北部、中部、南部、八重山、宮古地区と網羅しての選出委員6人で構成され、毎月1回、第3月曜日にWEBにて開催しています。（今年度初対面3月予定）

委員相互のコミカUPも兼ねながら、毎回1分間スピーチ（近況報告）からスタートです。

主な活動と致しましては、

年4回発行しています県歯科医師会広報誌の作製（原稿、文書の校正）、またHP、SNS活用をしての会員の皆さまへの情報発信を行なっています。

原稿・写真掲載の折には会員皆さまには募集・投稿などお世話になっています。

この場をお借りしてお礼申し上げます。「ありがとうございます。」

特に今後は『目的地にたどり着きやすいHP』を目指して、刷新か、リニューアルか、会員の臨む内容は？など特別委員会を立ち上げ、議論展開からのスタートとなります。

会員の『情報窓口』として歯科医師会をもっと身近に！をモットーに活動していきます。

今後とも、ますますの応援（何でもかんでも意見発信）、よろしくお願い致します。



★地域保健委員会

担当理事
屋嘉 智彦

活動内容

本委員会は以下の事業を担当しています。

1. 介護保健事業

会員を対象とした事業の策定

2. 地域保健事業

学校歯科委員会と協働した、学校でのフッ化物洗口の促進活動

うりずんフェスタ ブース出店（お口の健康づくりコーナー＜フッ化物洗口体験＞）（R6.2/11 予定）

こども園へのフッ化物洗口実施拡大にかかる説明会の実施

関連企業との共同事業

糖尿病等の連携の取り組み

講演会や啓発資料作成（糖尿病と歯周病の関連）

・沖縄県老人クラブ幹部研修会での講話／野原昭彦委員長（R5.9/12）

・講演会「歯周病と全身疾患の関係を知り、健康長寿を目指す」／講師：米山武義（R5.11/26）

かかりつけ歯科医推進 CM の制作・放送（FM 沖縄 R6.1/9～3/31）

3. 健診事業

事業所の歯科健診の運営（沖縄電力・沖縄銀行・琉球銀行・海邦銀行・公立学校共済組合沖縄支部・地方職員共済組合沖縄県支部）

グループホームの歯科健診の運営

有害な業務に係る歯科健診（特殊歯科検診）の運営
オリオンビール、水 ingAM、沖縄環境分析センター
歯科特殊健康診断研修会／講師：木下隆二（R4.12/22）

後期高齢者健診事業

・沖縄県後期高齢者医療広域連合歯科健診事業（ハイサイ歯科健診）

4. ICTを活用した口腔保健活動

スマートフォンやタブレットでの Do チェックプログラムを使用したオンライン歯科健診の実施

県民健康フェア ブースイベント（Do チェックプログラムによる保健指導）（R5.10/1）

うりずんフェスタ ブースイベント（お口の健康づくりコーナー＜Do チェックプログラムによる保健指導＞）（R6.2/11 予定）

5. 訪問歯科診療支援

在宅・介護施設等療養者への継続的な在宅歯科診療提供のための他職種連携事業

・訪問歯科診療推進フォーラム開催（R6.1/21）

・訪問歯科診療推進動画制作

・訪問歯科診療マニュアル作成

要介護高齢者・障害児者口腔ケア推進事業

・講演会「人生 100 年時代を元気で乗り切るために - 健康長寿 鍵は“オーラルフレイル予防” -」
／講師：飯島勝矢（R6.2/18 予定）

歯科医療従事者技術向上支援研修会（在宅歯科人材育成研修会）の立案・開催・報告

・講演会「『食べる』を支えるための、多職種連携と歯科歯科連携」／講師：猪原健（R6.1/14）

・講演会「パンデミック後の口腔からのウェルビーイングを考える」／講師：小坂健（R6.1/21）

6. 九州各県地域保健担当者会への参加

• 県歯報告 •

第37回沖縄県歯科医学会

日時：令和5年11月3日（金）午前10時～午後1時30分
場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室・WEB配信

学術委員会委員長 新城 美由紀



第37回沖縄県歯科医学会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、毎年少しずつ開催形式を変えてきました。今年はハイブリッド形式で開催いたしました。

【一般口演】

1. Sinus Lift,GBR にConcentrated Growth Factorを使用した症例

南部地区 赤崎歯科 赤崎栄

2. 当科におけるワイド・ショートインプラントの症例

北部地区 医療法人博徳会

あらさき歯科クリニック 護得久朝滋

3. 上顎洞底挙上術の際に粘膜の穿孔や裂開が生じた際の対応について

南部地区 神農デンタルオフィス 神農悦輝

4. 上顎洞に発生した線維性骨異形成症の一例

北部地区 医療法人博徳会

あらさき歯科クリニック・琉球大学医学部

歯科口腔外科 宮里優梨亜

5. 関節リウマチ治療中に発生した口腔粘膜炎2例について

南部地区 医療法人おもと会

大浜第一病院 歯科・口腔外科 新谷晃代

6. 沖縄県立病院群歯科口腔外科における口腔機能管理症例の検討

沖縄県立宮古病院 歯科口腔外科 上田剛正

7. 白歯部咬合崩壊に対し、挙上を伴う咬合再構成を行った一症例

南部地区 医療法人マゴコロ

オキナワ・デンタルオフィス 下地恒太郎

8. 重度の歯周病を伴い、アクロメガリーを疑ったAngle I級開口症例

北部地区 医療法人博徳会

あらさき歯科クリニック 新崎博文

9. 歯周病専門医院で日常行なっている歯周基本治療について

南部地区 浜口歯科医院 濱口茂雄

【特別講演】

1. 災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定について

沖縄県歯科医師会 学術委員会

副委員長 崎濱秀海

2. 経営の安定を目指して

-保険診療の増収への理解と自由診療を増やす効果的なマーケティングについて-

泉崎ファミリー歯科 院長 下所由美子

以上、多岐にわたる発表でした。

参加者はWEB参加38人、来場者42人でした。WEB配信のほうも特にトラブルは報告されませんでした。

各演題への質問は来場者からのみで、WEB参加者からはチャットも含め質問が出なかったことが気になりました。WEB参加者も質問しやすい方法を検討していきたいと思っています。

また、演題募集の際、発表用のデータ作成について詳細な説明をしていなかったため、一部の発表者の方にご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

これからも、会員の先生方の相互研修の場として、多くの演題が発表できるようにしていきたいと思っています。



第37回

沖縄県歯科医学会プログラム

令和5年11月3日

司会 沖縄県歯科医師会学術委員会
委員長 新城 美由紀

開会 10:00

開会の辞 大会長 米須 敦子

口演発表 (10:05 ~ 11:45)

1 演題10分 (発表8分、質疑応答2分)

0-1) Sinus Lift,GBRにConcentrated Growth Factorを使用した症例

○赤崎 栄 赤崎 文平
南部地区 赤崎 歯科

0-2) 当科におけるワイド・ショートインプラントの症例

○護得久朝滋 宮里優梨亜 後藤新平
新崎啓介 新崎博文
北部地区 医療法人博徳会
あらさき 歯科クリニック

0-3) 上顎洞底挙上術の際に粘膜の穿孔や裂開が生じた際の対応について

○神農悦樹
南部地区 神農デンタルオフィス

0-4) 上顎洞に発生した線維性骨異形成症の一例

○宮里優梨亜^{1,2)} 護得久朝滋¹⁾ 新崎博文¹⁾
井手健太郎²⁾ 河野俊広²⁾ 中村博幸²⁾
1) 医療法人博徳会 あらさき 歯科クリニック
2) 琉球大学医学部 歯科口腔外科

0-5) 関節リウマチ治療中に発生した口腔粘膜炎症2例について

○新谷晃代 仲西奈穂 石田晋太郎
南部地区 医療法人おもと会
大浜第一病院 歯科・歯科口腔外科

0-6) 沖縄県立病院群歯科口腔外科における口腔機能管理症例の検討

○上田剛生¹⁾ 狩野岳史¹⁾ 新垣敬一²⁾
比嘉努³⁾ 澤田茂樹⁴⁾ 仲間錠嗣⁵⁾
1) 沖縄県立宮古病院 歯科口腔外科
2) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科
3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科
4) 沖縄県立北部病院 歯科口腔外科
5) 沖縄県立八重山病院 歯科口腔外科

0-7) 臼歯部咬合崩壊に対し、挙上を伴う咬合再構成を行った一症例

○下地恒太郎
南部地区 医療法人マゴコロ
オキナワ・デンタルオフィス

0-8) 重度の歯周病Angle I 級開口症例

○新崎博文 護得久朝滋 宮里優梨亜
北部地区 医療法人博徳会
あらさき 歯科クリニック

0-9) 歯周病専門医院で日常行なっている歯周基本治療について

○濱口茂雄
南部地区 浜口 歯科医院

特別講演 1 (12:00~12:30)

演 題『災害犠牲者の身元確認のための歯牙鑑定について』

沖縄県歯科医師会 学術委員会 委員 崎濱 秀海

特別講演 2 (12:35~13:15)

演 題『経営の安定を目指して

-保険診療の増収への理解と自由診療を増やす効果的なマーケティングについて-』

泉崎ファミリー歯科 院長 下所 由美子

特別講演感謝状贈呈

大会長 米須 敦子

閉 会

学術委員会 委員長 新城 美由紀

抄 録**口演発表****0-1) Sinus Lift,GBRにConcentrated Growth Factorを使用した症例**

○赤崎 栄 赤崎文平 赤崎歯科 南部地区会員

【目的】

2014年に再生医療新法が施行され、歯科においては主に第3種に該当するPRP,PRF(CGF)などが応用されている。今回、Sinus LiftにおいてはSchneider膜の補強、Schneider膜裂開への対応、GBRにおいてはメンブレンの補強、切開部軟組織の治癒促進にCGFを使用し、良好な結果を得たので報告する。

【症例の概要】

患者は41歳女性。他歯科院にて13は抜歯になると言われたが、全体的な診断と治療の相談にて来院。既往歴：約10年前バセドウ病にて甲状腺の手術、鼻炎。特異体質なし。広範型慢性歯周炎、ステージⅢ、グレードCで、全体的に歯周病の治療が必要なこと、13は保存不可能で、抜歯になることを説明し、歯周治療、インプラント治療をすることになった。抜歯、歯周治療後、上顎前歯部にGBR(Titanium mesh、吸収性膜、CGF)をし、約10ヶ月後に11、21、22にBL Implantを埋入。右上臼歯部はSinus Lift(骨補填材、CGF)をし、約8ヶ月後、16、15にBL Implant埋入。3ヶ月後2次ope。更に3ヶ月後、16~22Implant bridge印象し、上部構造を装着。

【経過】

16~22Implant bridge部はその後、歯槽提などの周囲組織の変化、エックス線写真における骨吸収もなく、約2年経過後の現在も経過良好である。

【考察および結論】

今回、上顎前歯欠損部にTitanium mesh、吸収性膜、CGFを用い、良い結果を得たが、CGFの成長因子により、切開部歯肉の治癒促進がされ、歯肉開創もなく、また、Titanium mesh下においても骨造成が促進されたためだと考えられる。臼歯部のSinus Lift時のSchneider膜裂開においてCGFメンブレンを用いたが、CGFは組織接着性が強く、また、その成長因子により裂開部が治癒促進され、更には周囲骨組織の再生が促進されたと考えられる。CGFをGBRにおける遮断膜として使用することや、Sinus Lift時のSchneider膜裂開に応用することは有効であると考えられる。この症例は今後も経過観察をしていく予定である。

(治療はインフォームドコンセントを得て実施した。また、発表についても患者の同意を得た。再生医療等委員会承認 計画番号CGF PC7170008)

0-2) ワイド・ショートインプラントの症例

○護得久朝滋 宮里優梨亜 後藤新平 新崎啓介 新崎博文
北部地区会員 あらさき歯科クリニック

【緒言】

今回我々は、上顎臼歯部の上顎洞底下の骨量が少ない症例と、下顎管に近い症例及び、オトガイ孔に近い症例に、5×5のエクスターナルワイドショートインプラントを用いて、良好な結果が得られた症例を報告する。

【症例】

上顎においては、上顎洞底の骨量が少ない部位に、単独であるいは、連結もしくはフルボーンアンカードブリッジにて咬合を獲得できた症例の、報告を行う。この領域においては、従来のインプラントでは、サイナスリフトやソケットリフトを行わない

といけなかった症例の中にも、このワイドショートインプラントで対応できる所例もあることが、確認できた。また、下顎においては、下顎管上の残存歯槽骨の骨量が少なく、従来のインプラントでは適応が難しいと思われた症例の中にも、このワイド・ショートインプラントにて適応が可能な症例があることも、確認できた。

【まとめ】

上顎においても、下顎においても、残存骨量の少ない症例において、ワイド・ショートインプラントを適応することで、良好な結果が得ることが、確認できた。

0-3) 上顎洞底挙上術の際に粘膜の穿孔や裂開が生じた際の対応について

○神農悦輝 神農デンタルオフィス 南部地区会員

【目的】

上顎臼歯部のインプラント埋入手術において歯槽頂から上顎洞までの距離が少ない場合には、上顎洞底挙上術が選択される場合がある。この手術の偶発症として上顎洞粘膜の穿孔や裂開がある。その場合の対応について報告する。

【対象】

上顎臼歯部のインプラント埋入手術において歯槽頂から上顎洞までの距離が少ない症例

【方法】

上顎洞底挙上術の際に粘膜の穿孔や裂開が生じた際の対応

【結果】

穿孔、裂開が生じた際の対処法としては、

- 1) 穿孔が小さい場合には 吸収性膜（バイオメン

ド等）にて閉鎖する。

- 2) さらに大きい場合、裂開、穿孔した周囲の粘膜の剥離を十分に行い、吸収糸で縫合し、バイオメント等で被覆する。
- 3) 裂開部の修復が困難な場合、裂開部にバイオメント等で被覆し、骨補填剤を入れずに 静脈血の凝血塊を填入して閉鎖する。

【考察および結論】

上顎洞底挙上術の際に生じた粘膜の裂開の処置を誤ると術後に上顎洞炎等の重篤な合併症を引き起こす。手術を中止するという判断は、患者のみならず術者にとっても大きなストレスとなる。今回示した対応が、上顎洞底挙上術の際に生じた粘膜の裂開の治療の一助になればと考え、報告する。

0-4) 両側上顎洞線維性骨異形成症の一例

○宮里優梨亜（あらさき歯科クリニック、琉球大学病院 歯科口腔外科）
新崎博文 護得久朝滋（あらさき歯科クリニック）
井手健太郎 河野俊広 中村博幸（琉球大学病院 歯科口腔外科）

【緒言】

線維性骨異形成症は若年者に比較的多くみられる原因不明の顎骨病変で、一般的には病変部の外科的

処置を行うが、病変部の範囲や患者の年齢を考慮し、審美的回復やその予後も配慮しなければならない。今回われわれは、両側上顎洞に発生した線維性

骨異形成症を経験したので報告する。

【症例】

患者：50歳、男性。現病歴：2023年3月義歯製作希望にて当院を受診され、X線検査より両側上顎洞に不透過像病変を認め、琉球大学病院へ精査加療依頼にて紹介となった。X線検査より、両側上顎洞に線維性骨異形成症を疑う不透過像を認めた。生検病

理診断結果より、不規則な配列をした骨梁と層板構造を欠く線維骨が混在する骨組織を認めた。

【まとめ】

両側の上顎洞に発生した線維性骨異形成症の一例を経験したので報告した。本症例はまれに悪化するとの報告もあるので、今後も嚴重な経過観察もしくは外科的処置が必要である。

0-5) 関節リウマチ治療中に発生した口腔粘膜炎2例について

○新谷晃代 仲西奈穂 石田晋太郎
大浜第一病院 歯科・歯科口腔外科

【緒言】

本邦における関節リウマチ患者は82.5万人と報告されており30代から50代に発症し女性の割合が8割を超えているといわれている。抗リウマチ薬のメソトレキセート (MTX) や炎症を抑制するステロイド薬 (PSL) によって合併する口腔疾患について予め留意しておかなくてはならない。今回我々は関節リウマチ (RA) の治療中に発症した口腔粘膜炎2症例について報告する。

【症例1】

36歳女性 既往歴2020年5月からRAにてMTX・PSLを使用。
現病歴 2022年8月補綴物の脱離で初診
その際に左側口蓋部に直径3mmのびらん性病変認めたが自覚症状 他覚症状は認めなかった 主治医

と対診しMTXの休薬をおこない半年間の経過後治療に至った。

【症例2】

82歳女性 既往歴RAにてMTX使用中
現病歴 2023年7月MTXの誤った服用で口内炎が多発 摂食障害を主訴に当科初診 口腔内全体に出血を伴うびらんが認められた 入院管理下で栄養補給および抗菌薬投与にて改善した。

【考察・結語】

MTX服用中の治療遅延を呈している口腔粘膜炎に対しては十分な精査が必要であり、合併する口腔内疾患は主治医と対診して適切な対応が必要となる。

0-6) 沖縄県立病院群 歯科口腔外科における口腔機能管理症例の検討

○上田剛生¹⁾、狩野岳史¹⁾、新垣敬一²⁾、比嘉努³⁾、澤田茂樹⁴⁾、仲間錠嗣⁵⁾

- 1) 沖縄県立宮古病院 歯科口腔外科
- 2) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科
- 3) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科
- 4) 沖縄県立北部病院 歯科口腔外科
- 5) 沖縄県立八重山病院 歯科口腔外科

【目的】

沖縄県立病院群歯科口腔外科 (以下当科) では、統一した評価基準と口腔ケア方法で入院患者の口腔機能管理を行っている。今回、当科における実態を把握するために臨床統計的検討を行った。

【対象】

2013年から2022年まで、当科で周術期口腔機能管理を行った8712例

【方法】

診療記録を調査し臨床統計的な評価を行った。

【結果】

病院別では北部病院:701例、中部病院:3234例、南部医療センター・こども医療センター:2829例、宮古病院:1093例、八重山病院:855例であった。症例数は2013年が128例、その後増加傾向を認め2022年は1712例であった。性・年齢別では、男性4399例、女性4313例であり、60代が2403例と最も多く、次いで70代が2171例、50代が1147例の順であった。

【考察】

近年、周術期の口腔機能管理の重要性が認識されている。特に高齢や免疫機能低下の患者で、口腔内の細菌は全身感染のリスクを高め、周術期の適切な口腔ケアは、手術の成功や感染予防に直接関わる。

【結論】

経年的に口腔機能管理を受ける患者数は増加傾向であった。今後はさらに、かかりつけ歯科とも連携し口腔機能管理を行っていきたい。

0-7) 臼歯部咬合崩壊に対し、挙上を伴う咬合再構成を行った一例

○下地恒太郎 医療法人マゴコロ オキナワ・デンタルオフィス) 南部地区会員

【対象】

患者は初診時59歳の女性、咀嚼機能の回復と上下顎前歯部の審美性、清掃性の改善を希望して当院を受診した。診察の結果、臼歯部喪失による咬合高径の低下、歯根間距離と歯冠形態に起因する上顎両側中切歯間のブラクトライアングル、加えて下顎左側中切歯喪失後の長期間放置に由来する両隣在歯の近心傾斜を生じていた。

【治療方針】

欠損した臼歯部にインプラントを埋入して咬合挙上を行い、その後、矯正治療を開始する治療計画を立案した。

【治療経過】

全顎的なプロビジョナルレストレーションを装着

し、咬合高径と機能運動に問題がないことを確認し、補綴処置を行った。

【考察】

臼歯部喪失により咬合高径の低下を生じている症例に対して矯正治療を併用する場合、インプラント埋入と咬合挙上の介入時期等、考慮すべき項目は多い。今回、インプラント埋入を先行して咬合挙上を行ったが、これにより矯正治療対象歯の咬合接触が回避でき、結果的に動的期間を短縮することができた。

【経過】

現在のところ、良好な状態を維持している。

0-8) 重度の歯周病を伴い、アクロメガリーを疑ったAngle I 級開口症例

○新崎博文 護得久朝滋 宮里優梨亜
北部地区会員 あらさき歯科クリニック

【緒言】

今回我々は、ヘビースモーカーで重度の歯周病が認められ、幼い頃よりあおむけで寝れずにうつぶせ寝をしている、巨舌症を伴ったアクロメガリーを疑った矯正患者を経験したので報告する。

【症例】

30歳 男性 Angle I 級 開口

【既往歴】

幼い頃左目の斜視を認め手術を行った。

【現病歴】

学生の頃は、それほど気にならなかったが、20代で歯並びがおかしくなってきた。また、最近歯肉からの出血と動揺を認める。むし歯と親知らずも気になる。

【主訴】

歯並びが気になる。

【治療方法】

まずは、歯周病に対する、初期治療を行った。その後、歯周病に注意しながら上下左右の第1小白歯の抜歯を行い矯正治療を行った。また、アクロメガリーを疑わせる所見も報告する。

【考察】

進行した歯周病であったので、歯牙の動揺に気をつけゆっくりと治療を行った。幸いにも、特に歯牙の脱落もなく、理想的な咬合状態が獲得できた。また、アクロメガリー及び睡眠時無呼吸症候群の精査は、検討中である。

0-8) 歯周病専門医院で日常行っている歯周基本治療

○濱口茂雄 南部地区、浜口歯科医院

【緒言】

開業して30年近くになります。開業当初より、う蝕予防と歯周病治療を積極的に取り組んで参りました。その結果、多くの8020達成者を輩出しています。そこで今回、当医院で行っている歯周基本治療について報告いたします。

【方法】

①診査項目と術式
②プラークコントロール・SRPの術式
③歯周基本治療の主役となる衛生士教育の実際を報告いたします。

【結果】

沖縄県歯科医師会に届けられた8020達成者1119名のうち、当医院の患者さんは63名で、全体の5.6%を占めています。(2023年10月12日現在)

【結論】

歯周基本治療は、患者さんの負担も少なく、これを正確に行うことにより、歯の健康維持に極めて有効であると考えられる。

・ 県外報告 ・

第40回日本障害者歯科学会学術大会

日時：令和5年11月10日(金)～12日(日) 午後2時～午後5時
場所：札幌市 ロイトン札幌

沖縄県口腔保健医療センター 診療部長 平塚正雄



I 報告事項

1. 今大会ではセンタースタッフが一昨年より準備してきた下記演題①、②の調査研究についてポスターによる発表を指導した。

演題①全身麻酔下での多数歯齲蝕治療が口腔内細菌数に与える影響、○運天千里、平塚正雄、他。

口腔細菌数が多い多数歯齲蝕のある小児患者では、全身麻酔下歯科治療により有意に口腔細菌数を減少させ、バイオフィルム感染症を改善することが明らかとなった。この結果は当センターでの口腔衛生指導や歯科衛生指導においてエビデンスのある指導に繋がるものと考えられる。

演題②自閉スペクトラム症児の口腔内細菌数と口腔環境との関連性、○仲島瑠菜、平塚正雄、他。

自閉スペクトラム症児の口腔内細菌数は含糖飲料水の摂取状況により影響を受けることが明らかとなった。今回の研究結果より、当センターで管理している自閉スペクトラム症児のバイオフィルム感染症予防に関するエビデンスのある口腔衛生指導や歯科

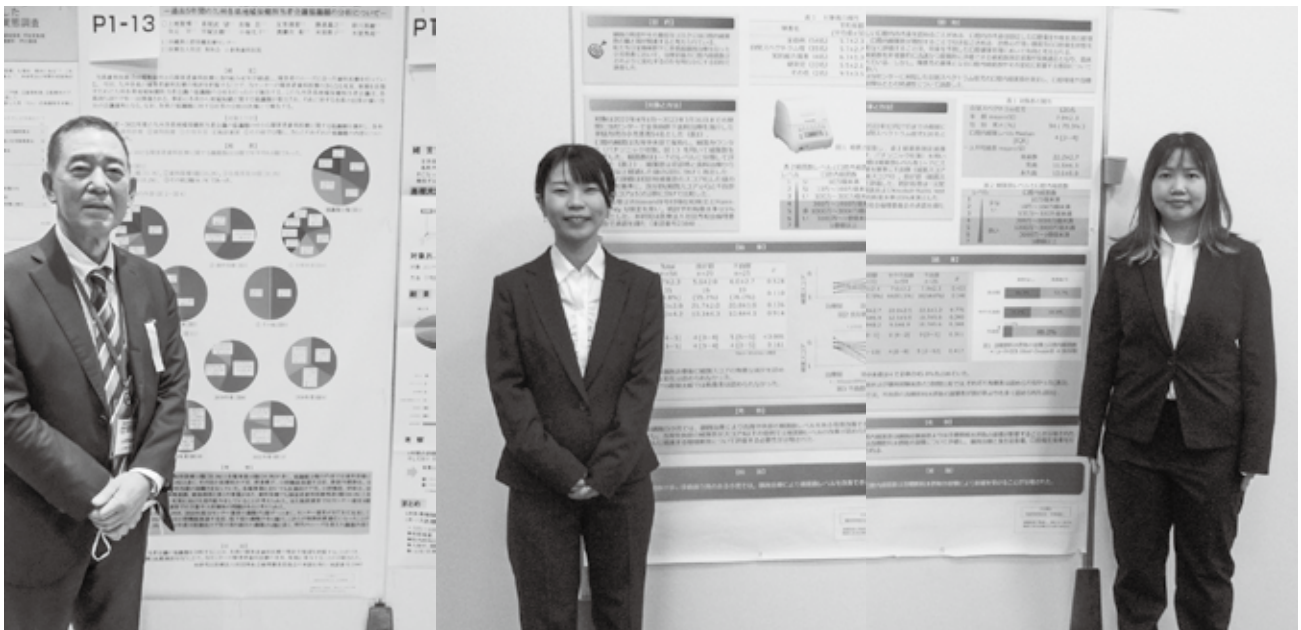
衛生指導に今回の研究結果は繋がるものと考えられる。

2. QR会員証による参加者受付登録のサポート (IT委員会メンバーとして)

今回の学術大会から参加者の参加状況、認定医・専門医・認定歯科衛生士の単位取得のIT化を図るために、IT委員会（平塚所属）で準備してきたQR会員証による参加証明のIT化を実践した。スマートフォン利用者が前提となるため、数名の参加者はQRコードの印刷が必要であった。スマートフォンによるQRコードの表示がうまくできない参加者も多いと予測されたことから、大会期間中は対応要員としてIT委員会メンバーが総合受付に待機し、サポートを行った。次年度の沖縄大会においても同様な対応が必要になるため、総合受付は広めのスペース確保が必要と思われる。

3. 地域関連団体代表者会議に地域医療委員会オブザーバーとして出席

本学会に関連する地域関連団体は障害者歯科アク



ティブネットワーク九州を含め9団体が承認されており、学術大会開催時に代表者会議を開催し、地域の情報収集や関連団体が開催する講演会や講習会、シンポジウムなどに対する支援の内容や方法を協議している。今回の会議では、本学会の公益化に伴う今後の地域関連団体との関係や支援内容について意見交換が行われた。次年度の沖縄大会でも大会期間中の昼食時間帯を利用して開催される予定である。

4. 委員会企画2 シンポジウム 地域医療委員会 オブザーバーとして

「今、岐路に立つ地域の障害者歯科医療Part2ー地域で活躍する口腔保健センターの現状と課題、そして未来ー」のテーマでシンポジウムを企画した。

今回のシンポジウムでは、口腔保健センターが存

在しない地域としての取り組みや地域の保健センター協力医として自院やセンターでの障害者歯科の取り組み、センターのある地域で入院設備のある1.5次歯科診療所の取り組みについて、それぞれのシンポジストが講演した。地域の障害者歯科医療を支える異なった歯科医療資源の存在とその施設での取り組みが紹介され、地域の障害者歯科医療モデルとして有益な情報が提供されたシンポジウムであった。この地域医療委員会企画は次期大会においても企画される予定であり、本学会地域医療委員会メンバーの勝連委員を中心にその準備を始めていく予定である。テーマとしては地域障害者歯科医療を支える歯科開業認定医と地域診療支援病院歯科とのオープンシステムによる連携などを検討していく予定である。





・ 県外報告 ・

九州沖縄地区医療安全に関するワークショップ

日時：令和5年11月29日（水）午前9時～午後5時

場所：WEB

医療管理・医業経営理事 邊土名 朝 憲

持続可能な医療のための安全管理としてオンラインにて開催されました。

式 次 第

- 司 会 九州大学病院特任准教授 鮎澤 純子
1. 開会挨拶 九州厚生局長 大鶴 知之
 2. 医療安全対策の動向
厚労省医政局地域医療計画課室長 松本 晴樹
 3. 佐賀県医療安全支援センターに寄せられる相談事例 佐賀県医療企画担当係長 宮原 亨宗
 4. “おひとりさま”医療安全管理者の活動のポイントや工夫
白岡中央病院医療安全管理課課長 渡邊 幸子
 5. 施設環境から考える医療安全
工学院大学建築学部教授 笥 淳夫
 6. DX推進による働き方改革
患者中心の安心、安全の医療を目指して
HITO病院副院長 園田 幸生
 7. 米国における医療専門職の働き方とチーム医療における医療安全への試み
ハーバード大学医学部
リサーチアソシエイト シュノック久美子
 8. パネルディスカッション 座長 鮎澤 純子
渡邊 幸子、笥 淳夫、園田 幸生
シュノック久美子 敬称略

長時間にわたるワークショップでしたが、日本の医療安全施策はまだ浅く、1999年から2000年に起きた心臓手術予定患者と肺手術予定患者を間違えてそのまま手術が行われた件、術後患者血管内に血液凝固阻止剤と消毒薬間違えて点滴し死亡、等々多くの医療過誤が起こった。「人は誰でも間違える」ことを前提に間違っても（事故を起こしても）障害に至らないようにするにはどうすればよいかを提言。

医療安全対策における考え方、1990年代は医療従事者個人の努力に依拠する。2000年代以降は個々の

要素の質を高めつつシステム全体を安全性の高いものへと変化。

医療安全は、「誤り」に対する個人の責任追及よりもむしろ、起こった「誤り」に対して原因を究明しその防止の為の対策を立てていくことが重要。

その中で国として医療機関の安全対策はもちろん患者の安全を最優先、その中に患者の苦情、相談に対応する体制の整備をあげている。今後患者からの種々のクレーム苦情を国から何等かの行政指導が行われないか心配な点もある。

医療相談センターに寄せられる相談苦情事例では40%が職員の対応、29%が医療行為医療内容で患者と医療機関側のコミュニケーション不足に起因するものが多い。

医療安全管理者（院長）の活動のポイントや工夫として、組織を整備するだけでなく機能させるには、一人で頑張らず皆を巻き込む（皆の力を借りる）スタッフの自立を促す（アドバイス、教育）顔の見える医療安全管理者を目指すにはスタッフとコミュニケーションを取りながら上からの命令ではなく対等に。現場に寄り添う姿勢（絶対に責めない!!）事故発生時は当事者に寄り添う。なるべくノルマを課さない。

医療安全管理者がやってはいけない事として以下があげられる。

1. 責任追及、犯人捜し
 2. 理想論、正論を主張
 3. 常にトップダウンで指示
 4. 杓子定規的な考え方
 5. 職種バランスを考えない改善方策の実施
 6. 曖昧な（具体性に欠ける）改善方策の実施
 7. 結果から判断した改善方策（再発防止策）の実施
 8. 現場で遵守できないような手順の作成
 9. 文書のみでの情報収集や情報発信
- インシデント発生時に時々見られる事として誰も

悪くないのに結果が悪い。良かれと思ってやった。誰かがやってくれると思った。忙しいから早くやろうと思った。知っていると思って確認しなかった。院長に怒られるから黙っていた。等々コミュニケーション不足と院長の上から目線は避けるべき。もう一度、医療安全とは安全な医療のシステムの構築？ Patient Safety 患者安全では？ JCIではIPSG (International Patient Safety Goal) 国際患者安全目標としている。医療安全管理とは、医療事故防止対策？ ヒューマンエラー対策？ インシデントレポート、医療安全に関する研修、インフォームドコンセント説明納得同意、医療苦情相談対応、医療機器安全、医薬品の安全、院内感染対策、院内暴力対策、リスクマネジメント、これは何のため、誰の為、あくまでも患者が安心安全な医療を受けられる医療環境を整える事が大事である。

米国においてインシデントレポートはアプリを使用して院内ネットワークからアクセス可。レポート

も多岐にわたる。患者経験、ケアと治療、コミュニケーション問題、患者の問題行動暴力等、投薬の過誤、副作用、医療行為での事故、プライバシー保護、検査検体の誤り、感染はプロトコル非遵守による空気感染、コンプライアンス問題、暴露（血液、体液）医療機器の故障、安全セキュリティ、敷地内での自動車事故爆破予告、武器等、些細な事でもWEBフォームからインシデントレポートを提出システムにより自動送信、調査解決策の実施。スタッフがエラーを恐れず報告できる文化が築かれている感がある。歯科では情報が少ないため皆で共有する必要があります。2023年10月より歯科ヒヤリハット事例収集等事業がスタートします。多くの歯科診療所が参加し事例報告が重要で患者を安全にそして医療従事者自身の身を守るために登録をお願いします。



• 県内報告 •

令和5年度第2回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会

日時：令和5年11月6日（月）午後1時30分～午後4時30分

場所：八汐荘 屋良ホール

地域保健委員会委員 高 良 孔 明

令和5年11月6日、令和5年度第2回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会が開催された。参加者は、前回同様、高齢者福祉に関連する医療、介護、大学教授、関連団体からの代表20人（参加したのは、18人）と沖縄県子ども生活福祉部で会議は行われた。

今回の会議も第9期沖縄県高齢者保健福祉計画策定に向け、各団体の現状や、意見を求めていく形で、会議は進められた。

会議に先立ち、沖縄県歯科医師会として、質問状をお送りしておりました。

沖縄県の第8期計画事業、特に歯科関連事業についての評価を沖縄県に求めたところ、評価に関する回答はなかった。これは、沖縄県が場当たりの、歯科関連の事業まで把握が出来ておらず、かつ活動を沖縄県歯科医師会に丸投げの状態になっていることが示唆された。

沖縄県歯科医師会は今後予想される歯科関連職種である歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の人員の減少傾向に対する人員確保を目的とした対策や行動を真剣に実践していく必要があり、また、第9期以降の骨子案の中にその内容を盛り込み、沖縄県にも

積極的な協力を得ていく必要があると強く考える。それは、他職種においても同様の人手不足の現状は変わらず、特に介護福祉士に関しては、介護福祉士の専門学校が4校あるが、令和6年度より、その内の2校が新生の募集を行わないことを決定しており、今後益々介護福祉士の減少傾向が予想され、そのことに対し、沖縄県の協力を求める発言が会議内で多かった。

当会においても、現状として宮古地区のように義歯を作成する歯科技工士を地域において確保出来なくなっている地区も出てきており、このような状況は、他の地区においても起こり得ることは容易に予想され、危機感を持って、今後検討し、行動に移さなければならない状況だという認識を各会員が持ち合わせなければなりません。

今後も沖縄県に対し、歯科関連職種が全県で不足している状況にあり、そのことが高齢者福祉や支援に影響していくことをお伝えし、骨子案内にその内容に対する対策案を盛り込んで頂き、沖縄県の協力を得られることに繋げていきたいと考える。

以上をもって、会議報告とする。

• 県内報告 •

令和5年度歯科医療従事者技術向上支援研修会

日時：令和5年11月19日（日）午前10時～午後4時30分
 場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

学術委員副委員長 崎 浜 秀 海

次 第

《第一部》10：00～13：00

司会 学術委員 崎浜 秀海

10：00

開 会 司 会

主催者挨拶 沖縄県歯科医師会

学術担当理事 金子 智之

講師紹介 司 会

講 演 講師 DH HIYOKOCLUB

代表 堤内 久枝先生

12：50

質疑応答 司 会

13：00

第一部閉会 司 会

休 憩（13：00～13：45）

《第二部》13：45～16：30

司会 学術委員 崎浜 秀海

13：45

開 会 司 会

16：20

質疑応答 司 会

16：25

感謝状贈呈 沖縄県歯科医師会

学術担当理事 金子 智之

16：30

第二部閉会 司 会

11月19日に昨年度に引き続き、講師に堤内久枝先生、大江亜希子先生をお招きして、『歯周病を治せる歯科衛生士を目指そう』を研修テーマにして、歯科衛生士向けの研修会を行いました。参加希望の28人全員が出席しての開催となりました。

第一部は主に座学、第二部はマネキンに顎歯模型を付けてSRP実習を行いました。実習は、部位ごとに詳しく説明していただき、又講師のお二人は、実習中に受講生の間を回り、細かく指導して頂きました。

受講した衛生士のアンケートから、「基礎とは違ったSRPを教わってとても勉強になった」「今日の話をもっと早くに持って帰ってスタッフで共有したい」「又このようなセミナーに参加したい」など、うれしい感想が聞けました。



• 県内報告 •

沖縄県災害医療コーディネート研修

日時：令和6年1月6日（土）午前9時～午後5時

場所：沖縄産業支援センター 大研修室

専務理事 屋嘉智彦

本研修は、災害医療に携わる県及び市町村の行政職員、保健医療関係者を対象として、大規模災害時の医療救護活動の調整に関する研修を実施することにより、災害医療体制の充実・強化を図ることを目的として行われている。

参加者全体が6班（各班6名程度）に分かれて、ワークショップ形式で大規模災害時の医療救護活動の調整について学んだ。最後の2時間半にわたるチーム運営演習で、2班合同で災害対策本部のロールプレイを行った。沖縄県浦添市で大災害が発生し、健康保健相談センターに災害対策本部を設置したと言う設定で、リーダー・サブリーダー（救護担当・物資担当etc.）・通信担当・記録（クロノ作成）担当・補助等を演じ、災害対策本部に支給された2台の携帯電話から発信される、被災側／派遣側からの

種々な要請に対応するという課題に取り組んだ。

簡単に言えば、災害対策本部のお仕事体験をすることがこの研修の最終目的であり、そこに至るまでのワークショップで必要な基礎知識を学ぶ、という構成であった。災害対策本部への様々な要請に対して、淀みなく的確な対応を行う（特に、連絡内容的確な記録を残し、正確な時系列情報を作成することの難しさを体感し、そのためにはチームワーク（常からお互いを理解していること）の重要性を痛感した。

元日に能登半島地震が発生したこともあり、参加者からは特別な緊張感が感じられた。実際に災害医療チームとして派遣予定の、災害資格をもつ参加者の方から、間接的ではあるが現状について知ることができ、実りの多い研修会であった。

災害医療コーディネート研修会

9:00～9:15	0:15	受付
9:15～9:20	0:05	開会挨拶
9:20～9:25	0:05	研修の意義
9:25～9:35	0:10	被害想定確認
9:35～10:15	0:40	情報－記録、抽出、決定（キロケ）
10:15～10:20	0:05	休憩
10:20～11:00	0:40	情報－避難所評価演習 HAE40
11:00～11:45	0:45	つなぐ－組織・救護班をつなぐ50
11:45～11:50	0:05	休憩
11:50～12:30	0:40	つなぐ、解決する－ヒモバシルトキ40
12:30～13:30	1:00	昼食
13:30～14:10	0:40	ちーむ－チーム作り
14:10～14:15	0:05	チーム運営演習 HAG 説明 05
14:15～14:20	0:05	休憩と移動
14:20～16:50	2:30	チーム運営演習 HAG150
16:50～17:00	0:10	振り返り

県の災害医療体制	0:15:00	youtube
災害被害想定作成について	0:11:11	
事前学習共通1「保健医療福祉調整の重要性」	0:16:44	
事前学習2「情報記録」	0:09:10	
事前学習3「避難所生活とその評価」	0:08:34	
事前学習4「つなぐ」	0:19:08	
事前学習5「チーム作り」	0:21:32	
事前学習6「支援を受ける」	0:06:25	
	1:47:44	

令和5年度

赤い羽根共同募金のご寄付について(お礼)

平素より、本会会務運営に関しまして御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、時節柄出費多端の折にもかかわらず、この度赤い羽根共同募金へのご寄付にご協力頂きまして衷心より感謝申し上げます。

お寄せいただいた浄財(1,023,000円)は、本会館において12月14日に沖縄県共同募金会へ贈呈させて頂きました。



令和3年度共同募金による令和4年度広報事業への配分実績一覧			
法人名	市町村	事業名	配分額
(一社) みらい	中城村	車両購入事業	960,000
(公社) 沖縄県母子寡婦福祉連合会	那覇市	母と子のつどい	531,000
(公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会	南風原町	母と子の楽しい運動会	23,000
(公社) 日本オストミー協会沖縄県支部	那覇市	精神保健福祉家族大会 2022 の開催	618,000
(公社) 日本てんかん協会 沖縄県支部	那覇市	九州ブロック会議	26,000
(特非) 防災サポート沖縄	南風原町	オストミービジター県外研修派遣事業	70,000
(特非) 沖縄県脊髄損傷者協会	沖繩市	全国支部活動者会議及び総会	中止
(特非) Peace	那覇市	地域防災力強化事業	430,000
(特非) ロービジョンライフ沖縄	那覇市	脊髄損傷者及び介護者リフレッシュ事業	288,000
(特非) ToiToi	沖繩市	車両購入事業	1,645,000
(特非) 沖縄市障がい者福祉協会	沖繩市	車両購入	710,000
(福) 沖縄県社会福祉協議会	那覇市	リハビリ器具の購入事業	1,195,000
(福) 沖縄県身体障害者福祉協会	八重瀬町	eスポーツ活動事業	57,000
(福) たまん	糸満市	福祉情報おきなわ発行事業	1,002,000
(福) 愛恵福祉会	南風原町	THANKS(サンクス)運動推進事業	2,552,000
DET沖縄	那覇市	市町村社協支援事業	1,660,000
沖縄県母子生活支援施設協議会	那覇市	第65回沖縄県社会福祉大会開催事業	1,970,000
Okinawa Hurricanes (沖縄ハリケーンズ)	浦添市	第55回沖縄県身体障害者福祉大会	428,000
SEASIRS (シーサーズ)	沖繩市	感覚統合訓練器具購入事業 (こども発達支援センターココイク)	360,000
沖縄フェニックス	那覇市	車両購入 (送迎用バス)	中止
沖縄県障害者卓球協会	南風原町	DETを応用したインクルーシブ研修	617,000
沖縄県障害者スポーツ指導者協議会	八重瀬町	課題別(災害時・多文化共生)インクルーシブ研修のための調査と研修開催	613,000
沖縄県児童養護協議会	那覇市	第56回九州ブロック母子生活支援施設研究大会(沖縄大会)	中止
沖縄県保護司会連合会	那覇市	第24回車いすラグビー日本選手権大会 予選リーグ	440,000
全国心臓病の子どもを守る会沖縄県支部	那覇市	第42回朝日九州車いすバスケットボール選手権大会	331,000
沖縄県民生委員児童委員協議会	那覇市	第34回 日本車いすツインバスケットボール日本選手権九州地区予選大会	中止
	南風原町	第41回九州障害者卓球選手権(福岡県)大会派遣事業	261,000
	八重瀬町	沖縄県障がい者ポッチャ(パラスポーツ)講習会	80,000
	那覇市	第34回沖縄県児童福祉施設スポーツ大会	130,000
	那覇市	令和4年度 沖縄県更生保護大会	50,000
	那覇市	令和4年度全国児童委員活動研修会派遣事業	中止
	那覇市	令和4年度小規模離島児協全国大会派遣事業	313,000
	那覇市	令和4年度全国民生委員・児童委員リーダー研修会派遣事業	中止
	那覇市	令和4年度全国民生委員指導者研修会派遣事業	75,000
	那覇市	療育キャンプ(東村つつじエコパーク)	90,000
	那覇市	九州ブロック研修会派遣事業(熊本県)	中止
沖縄県網膜色素変性症協会(JRPS 沖縄)	豊見城市	第10回総会並びにアイフェスタ開催事業	58,000
	豊見城市	社会見学を兼ねた患者家族の交流事業	77,000
	豊見城市	世界網膜の日 in 山陰 派遣事業	196,000
27団体 39事業		合計	17,856,000

令和4年度市町村社協への配分実績一覧

市町村社協	配分類
名護市社会福祉協議会	3,088,834
うるま市社会福祉協議会	7,821,982
沖繩市社会福祉協議会	5,964,164
宜野湾市社会福祉協議会	4,537,487
浦添市社会福祉協議会	6,175,196
那覇市社会福祉協議会	9,425,042
豊見城市社会福祉協議会	2,449,668
糸満市社会福祉協議会	3,013,110
南城市社会福祉協議会	5,785,516
宮古島市社会福祉協議会	2,455,135
石垣市社会福祉協議会	3,179,678
国頭村社会福祉協議会	1,249,424
大宜味村社会福祉協議会	1,523,968
東村社会福祉協議会	523,607
今帰仁村社会福祉協議会	1,593,501
本部町社会福祉協議会	2,108,355
恩納村社会福祉協議会	1,986,410
宜野座村社会福祉協議会	982,403
金武町社会福祉協議会	1,269,855
伊江村社会福祉協議会	1,033,021
伊平屋村社会福祉協議会	654,247
伊是名村社会福祉協議会	782,798
読谷村社会福祉協議会	3,330,402
嘉手納町社会福祉協議会	2,360,251
北谷町社会福祉協議会	2,725,095
北中城村社会福祉協議会	3,378,193
中城村社会福祉協議会	2,583,186
西原町社会福祉協議会	3,572,000
八重瀬町社会福祉協議会	5,960,083
与那原町社会福祉協議会	2,326,108
南風原町社会福祉協議会	4,665,421
久米島町社会福祉協議会	1,087,680
渡嘉敷村社会福祉協議会	355,448
座間味村社会福祉協議会	360,195
粟岡村社会福祉協議会	291,145
渡名喜村社会福祉協議会	535,760
南大東村社会福祉協議会	391,988
北大東村社会福祉協議会	255,051
多良間村社会福祉協議会	646,644
竹富町社会福祉協議会	2,953,353
与那国町社会福祉協議会	1,258,006
合計	106,639,410

第62回(令和5年度)全日本学校歯科保健優良校表彰

学校歯科担当理事 玉 城 齊

この度、公益社団法人日本学校歯科医会並びに、公益財団法人日本学校保健会が主催します、第62回全日本学校歯科保健優良校表彰におきまして、沖縄県立豊見城高等学校と、那覇市立石田中学校が表彰されました。

本事業は、文部科学省の学校歯科保健参考資料「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり」の理念に基づき、学校教育目標の具現化を目指した活動を推進し、全国的に範とするに足る成果を挙げた学校の表彰を行い、もって幼児・児童生徒の歯・口の健康づくり等を目指した確かな健康観の育成に資することを目的としています。

豊見城高等学校におきましては日本学校歯科医会会長賞を、石田中学校におきましては奨励賞を受賞されました。

受賞されました二校に対しまして、心よりお祝い申し上げますとともに、より一層の歯科保健推進を祈念いたします。



令和5年度 登院式

11月22日(水)、コロナ渦の影響から徐々に日常を取り戻してきた中、学生や保護者に見守られながら、本校にて登院式が執り行われた。歯科衛生士を目指す学生たちが、初めて臨床実習に臨む前の大事なセレモニーで、歯科衛生士という職業を実際の現場で体感し、これまで学んだことを確認し理解を深めていくうえで転機となる行事である。

会場の明かりを落とし、ナイチンゲール像に灯された灯を、名前を呼ばれた学生が順に自身の持つ燭台に受け取り、全員が受け終え整列すると、誓詞を朗読する。厳かな雰囲気では進み、緊張感が漂う中、学生たちもリハーサルとは違い真摯に向き合っていた。

学生たちは臨床実習に向けてのオリエンテーションで、現場に出た際の立ち振る舞いや、学習意欲などを厳しく指導されており、そのせいか、いつもよ

沖縄歯科衛生士学校担当理事 中地 昭雄
り緊張感のある式だったように感じた。

また、校長からも例年より厳しめな訓示があり、保護者向けへの説明会でも理事や職員から臨床実習の大切さや、現場の厳しさや受け入れ側の苦労なども伝えたと、保護者からの反響も大きなものだった。

実際に臨床実習に入ると、今まで学習したことを現場で体験することによって、時には戸惑いや不安を感じることもあるが、担当教員や家族、実習現場のサポートを受け、学生たちが新しい学びを楽しみ、そして目標を得られることを切に願う。

学生気分から、国家資格を得て社会に出ていく準備として臨床実習に励み、一医療人として地域に貢献できるように成長できるように、これからもサポートしていきたい。



令和5年度 奨学金授与式

12月22日(金)、本校独自の奨学金授与式が行われた。成績・出席状況・生活態度等の優れた学生に対し、米須敦子校長より奨学金の授与が行われた。

今回対象となったのは、各学年で優秀だった上位2名の6名の学生である。

1年生は、初めての授与式で制度に驚いていたようだった。また、2・3年生の奨学生からは、昨年度の米須校長の「努力すれば誰にでもチャンスはある」という言葉を実践した!という表情と喜びの声が聞かれた。

奨学生代表挨拶として、3年生の宮里椎菜さんは、受賞のお礼と喜びに加え、「1年生はこれからより専門的な講義や学内実習が増えること、2年生には臨床実習と学業の両立を乗り越えて成長してほしい」と、後輩達にエールを送った。また、「冬休みはしっかり勉強し、3月の国家試験には全員揃って合格しよう!」と3年生を鼓舞していた。

米須校長からは、コロナ禍から通常の状態に戻り

沖縄歯科衛生士学校担当理事 中 地 昭 雄
つつあること、本校は「歯科衛生士」という職業教育の場であり、クラスメイト協力して全員で「歯科衛生士になる」という目標に向かって頑張るよう激励があった。

奨学生代表挨拶や、クラスメイトが舞台上がり表彰される姿は、学生にとって良い刺激となり、上級生は受賞者がほぼ毎年入れ替わり、この制度を通して学生同士が成長することに繋がっていることを実感する。教育理念である「豊かな人間性を養い地域社会の健康と福祉に貢献できる歯科衛生士を育成する」を今後も学校運営委員会・教務一丸となって、推し進め卒業生が会員の先生方のもとへ旅立ってもらうよう努力しようと改めて感じる式となった。



令和5年度

就職説明会

昨年11月12日(日)、衛生士学校3年生を対象とした就職説明会が行われた。

前年度より、極力学校側の負担を軽減するよう取り組んでおり、今回もその一環として県歯の大研修室を会場とした。約30医院の参加をいただき、学生たちにとって普段講義や実習等で関わりのない医院の雰囲気を知るにも良い機会になったと思われる。

以前のように時間を決めて学生を回らせるのではなく、一般企業の説明会のように学生自身が興味を持った医院のブースへ自由に話を聞きにいけるよう、時間制限等は設けずに行った。賛否あることは

沖縄歯科衛生士学校担当理事 中地 昭雄
承知しているが、これが本来の説明会の形であると考えている。

今後も新卒の人材不足は続くことが予想されるので、復職希望者も交えた説明会へと対象を拡大していくことも検討している。



早期発見で負担軽減に

県歯科医師会コラム 

歯の長寿学

339 

真喜屋建

サンデンタルクリニック(宮古島市)

歯医者さんって痛いとか治療が長い、そんなイメージを持っている人は多いと思います。なぜ痛いのか、長引くのか、まずはスマホで「歯根イラスト」を検索してみてください。

虫歯(C)を分類すると浅い順にC1(エナメル質)、C2(象牙質)、C3(歯髄)、C4(歯冠崩壊)となります(かっこ内は進行範囲)。主に飲食時にみられる痛み(誘発痛)がC2から、何もなくても起る痛み(自発痛)がC3から発生します。痛みの程度や感じ方には個人差があり、痛みがないままC2からC4状態になることも往々にしてあります。

虫歯の痛みで来院される人の多くはC3で、自発痛があり炎症が強い時は麻酔が効きにくく、治療に時間を要します。そこで行う処置が「歯の神経の治療」です。虫歯が神経まで進んでいると、触れる

虫歯の痛みや治療

と激痛が走ります。神経が生きている場合は、神経を抜くことで痛みが治まります。死んでいる場合は中がバイ菌に感染し、根の先がうみがたまり圧迫されるため、痛みが出ます。神経を抜くか、うみを出して感染した根管を清掃する処置が必要です。

歯根の治療にはつまようじがギザギザしたような器具(ファイル)を使用します。つまようじは口の中へほぼ水平に入りますが、ファイルはほぼ垂直に挿入するため、口を大きく開けられない人にとっては苦痛でしょうかありません。

さらに歯根の中の空洞は非常に狭く、曲がったり、枝分かれしたりと複雑で、手探りの感覚での処置になります。形態把握に時間がかかります。患者さんにとっても歯科医にとっても根気のいる治療です。

C3まで進行すると、炎症が強いため麻酔が効きにくい場合が多く、また複雑な歯根の場合は口を開けたままの苦しい時間が続きます。そのため治療が嫌になって中断してしまい、いずれC4となり、やむを得ず抜歯となるケースも多々あります。

早期発見、早期治療は痛みの発生もかける時間も少なく済みます。予防のために、検診目的の歯科受診をお勧めします。

第3水曜日掲載

令和5年8月16日(水曜日)

保険診療できる場合も

県歯科医師会コラム 

歯の長寿学

340 

崎原盛貴

ユニバーサル矯正 歯科クリニック(北谷町)

矯正歯科治療とは、悪い歯並びやかみ合わせを、きちんとかみ合うようにして、きれいな歯並びにする歯科治療です。しかし、歯を削って「差し歯」にすることは、基本的にはありません。矯正装置(マウスピース)を通して、歯やあごの骨に力をかけてゆっくりに動かし、歯並びとかみ合わせを治していきます。

歯がデコボコしていたり、上下のあごの歯並びがお互いにちゃんとかみ合わない状態を、専門的には「不正咬合」といいます。不正咬合をそのままにしておくと、さまざまな問題が出てきます。

例えば、食べ物がよくかめない、歯槽膿漏になりやすい、口臭の原因になる、あごの関節に負担をかけるなどの問題が起る可能性があります。

矯正歯科治療は一般的に保険診療ではなく自費治療となっています。しかし国が定めた疾患が認められる場合に限り、矯正歯科治療が保険診療の対象となります。

矯正歯科治療

顎関節症、ダウン症、成長ホルモン分泌不全性低身長症、6歳以上の先天性部分無歯症などに起因した咬合異常に対する治療や、前歯および小臼歯の永久歯のうち3歯以上の萌出不全に起因した咬合異常(埋伏歯開窓術を必要とするものに限る)に対する治療が保険診療の対象になります。矯正歯科治療、顎変形症顎骨切手術を必要とするものに限る)の手術前後も対象です。

なお、これら保険適用される矯正歯科治療を行える医療機関は、厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生(支)局長に届け出た保険医療機関のみになります。

この保険医療機関の名簿に関しては、地方厚生局ホームページに最新の情報が掲載されており、矯正歯科治療を受ける際には担当される歯科医師に治療内容や費用、治療期間、治療後のケア、メリット・デメリットなどについて詳しく相談し、治療を受けるかどうかは最終的には患者自身で判断されることが大切です。

第3水曜日掲載

令和5年9月20日(水曜日)

顔の非対称生じる恐れ

山内昌浩



341

山内矯正歯科クリニック(嘉手納町)
交叉咬合とは奥歯のかみ合わせが上下逆の状態、ご自身では気づきにくい不正咬合です。横向き寝や頬づえ、舌の位置の不正などが原因で、上下の歯並びの幅の不調和や上下の前歯の正中線がずれていることもあります。成長に伴い交叉咬合がある側に下顎がずれて顔面の非対称が生じることがある上、一度ずれてしまった下顎は矯正治療のみでの改善が困難ですので、可及的速やかに交叉咬合を改善する必要があります。矯正治療は①乳歯の時期や永久前歯が生えて以後、または②永久歯が生えそろうた後や成長終了後に行います。まず、横向き寝や頬づえの癖は徐々に改善してもらいます。

①早期の矯正治療では、既成のマウスピースで正しい舌の位置を覚えてもらったり、取り外せる装置(拡大床)

交叉咬合

や歯に固定する装置(上顎急速拡大装置、リンガルアーチ、クワドヘリックスなど)で上の歯並びや上顎の幅を広げます。さらに、下顎の正しい成長を促すため、夜間就寝中にマウスピース(FKOなど)を使用します。

②永久歯列完成後の矯正治療は、月1回程度、2年ほど通院します。顔面の非対称がなければ、上下全ての歯にボタンのような装置(ブラケット)とワイヤを装着するマルチブラケット装置の使用が一般的です。一方、唇や鼻が傾いている、下顎にずれがある場合は、総合病院の歯科口腔外科や形成外科と連携し、まず、マルチブラケット装置で歯並びを整え、上下の顎、または下顎のみの手術を併用する外科的矯正治療をします(矯正治療も手術の費用も健康保険適用)。

その後はアフターケアで、歯の後ろをワイヤで固定したり、マウスピースを使用して歯並びを維持したりする保定で、3カ月ごとに2〜3年通院します。手術の不安はよく分かりますが、逆に顔貌のずれを伴う不正咬合も外科的矯正治療の進歩で最終的にはほぼ治ると考えてもらうと気が楽になるでしょう。

Ⅱ第3水曜日掲載

●令和5年10月18日(水曜日)

乳歯の虫歯も治療必要

東建太



342

患者さんから受ける質問の中で、歯科医の私が「最も典型的な間違った知識・考え方です」と答える質問が二つあります。

Q 乳歯は生え変わるから虫歯になっても治療の必要はありませんよね?
A 乳歯だって虫歯になれば痛みが出ます。それをいつ生え変わるかも分からないまま何年も放置しておくのは、ネグレクト(育児放棄)に相当すると大学では教えられます。

さらに、重度の虫歯になると(乳歯でも永久歯でも)歯の根の先にうみがたまり、乳歯の根の先にたまったうみの中をくぐって生えてきた永久歯は、その形や色が普通とは違ってしまうものもあります。

Q フッ素(PFOS)と表現する方にも(フッ素)には毒性があるんですか?

間違った知識

A まず、歯医者で虫歯予防に良いと勧めるのは、正確には「フッ化ナトリウム」という物質であり、PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)とは完全に違う物質です(最近はお掃除剤からの流出で話題ですね)。「塩」と「塩酸」よりもかけ離れた物質と思っついていかもれません。

「毒性」に関しては少し難しくなるので詳細は省きますが、要するに「体に害をなす性質」と定義すれば、この世の全ての物質には毒性があります。例えば、しょうゆも焼酎も1升を一口气飲みすれば普通の人間は死にます。日常の飲食物ですら適正量を守らなければ、全て「毒性」を持つのです。

ではフッ化ナトリウムはというと、国内で流通する歯磨き粉のほとんどにはフッ化ナトリウムが配合されていますが、体重20kgの子でもあれば、歯磨き粉1本程度丸のみしてしまうと中毒を起す可能性があります。しかし、歯磨き粉は吐き出すのが前提で使用するものなので、歯磨き粉でフッ素中毒を起す可能性はほぼ皆無と考えていいでしょう。もっと詳しく知りたい方はかかりつけの歯科医にお尋ねください。

Ⅱ第3水曜日掲載

●令和5年11月15日(水曜日)

新聞記事

楽しい雰囲気づくりを



東哲平

メイプル歯科(南風原町)

歯科医院に来て、口を開けてくれない子どもが時々います。歯科治療は子どもが動くのもよくないし、子どもたちの協力なしには成り立ちません。ではどうするかというと、まずは慣れてもらうことから始めます。楽しんでまた来なくなるような雰囲気づくりをしていくことが望ましいです。歯科医や歯科衛生士と虫歯予防のための歯磨き練習をしたり、保護者や子どもとコミュニケーションを取ったり。こういったプロセスはとても大切です。何か一つでもできたらうんと褒めて、保護者の負担もできるだけ軽減できるようにします。子どもが自分で自分を管理していけるよう指導することも歯科医院の重要な仕事なのです。子どもは磨き残しができてしまうこともあります。楽しみながら歯磨きが上手

口を開けてくれない子

になるようにしていきたいものです。さて、冒頭で触れた歯科医院に来てもなかなか口を開けてくれない子。こういう時も焦らず、どうして口を開けないのか、その子に付き合っけて口を開けてくれるまでコミュニケーションを取ります。3才頃までは問題なく治療できていたのに、小学生になって突然「嫌だ」という子もいます。こうした場合、この子に弟か妹が生まれたか保護者に聞くことがあります。構ってほしい気持ちがあると、大人に甘えたくて治療を拒否することもあります。親に子どもを手を握ってもらうと、変化が見られることがあります。どんな小さなことでも保護者の前で褒めて、自尊心を傷付けず、自信を持てるよう働きかけることも大事です。「心を開かないと、子どもは口を開かない」ともいいます。やはり大事なのは心です。一人一人に個性があり、背景を考慮しながら医療を行うことが、医療だけでなく自己管理をしていく上での鍵になります。皆さんも子どもと楽しみながら、何を必要としているかを考えてみながら、一緒に歯磨き練習をしませんか?

第3水曜日掲載

令和5年12月20日(水曜日)

次の治療法 考えて判断



下地恒太郎

オキナワ・デンタルオフィス(南風原町)

歯が生える業。そんな夢のような治療薬の開発が進められており、現在は実用化に向けた研究の最中だそうです。ですが残念ながら、広く一般的に臨床に应用されるのは、まだまだ未来の話になるでしょう。一度抜歯すると元の状態に戻すことはできませんので、抜歯は最終手段とし、まず歯を残すすべを探るといったのが基本的な治療の考え方となります。そのため、多少予後に不安があったとしても治療して歯を残すケースはたくさんあります。この「多少予後に不安があったとしても」というのを、どこまで許容するかが鍵になります。治療方針を決定する上で重要なのは、「次の一手」を頭に入れておくことです。抜歯を避けて歯を残す道を選んだ結

抜歯の選択

果、炎症の進行を招き、その周囲に大きな骨吸収を生じってしまったら、次にどんな治療をするにしても条件は悪くなってしまいます。つまり、次の治療の質が大きく低下するのです。ですから歯を残す場合は、再治療時の条件を最低限確保できるだろうという前提が必要になります。さらに、この選択基準は患者さんの年齢によっても大きく異なります。若年者の場合は、チャレンジングなケースでもトライする価値は大きいでしょう。逆に高齢者の場合は、ポーターラインの場合でも積極的に抜歯した方が他の歯の延命につながるケースが多いように感じています。長く利用できそうな歯は当然残すべきですが、「歯を残すことこそが善く、抜歯は悪」と簡単に言い切れるものではありません。全く逆のパターンも十分にあり得ますので、1本の歯ばかりにとらわれるのではなく、口の中の状態を総合的に診断した上で治療方針を決定すべきだと思います。この話を頭の片隅に置いていただき、抜歯か否かの選択を迫られた際にほんの少しでも思い出し、一助としていただけましたら幸いです。

第3水曜日掲載

令和6年1月17日(水曜日)

理事会報告

■ 令和5年度 第11回定時理事会（通算16回） 令和5年11月28日（火）午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第1種）の退会について
2. 沖縄県歯科医師会疾病共済金申請について
3. 寄付された金品の収受及び用途について
4. 「第20回記念沖縄県介護支援専門員研究大会in那覇」開催における後援名義使用について

II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県歯科医師会会費減額に関する件
 第2号議案 沖縄県歯科医師会会長表彰推薦に関する件
 第3号議案 令和5年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会に係る参加者の推薦に関する件
 第4号議案 沖縄県エイズ対策連絡協議会委員の推薦依頼に関する件

III. 協議事項

1. 令和6年度事業計画について
2. 九州各県医療管理・医療安全対策担当者会への委員参加について

IV. 報告事項

1. 令和5年度九州各県歯科医師会地域保健担当者会出席報告
2. 令和5年度九州各県歯科医師会学術担当者会開催報告
3. 第37回沖縄県歯科医学会開催報告
4. 令和5年度九州各県歯科医師会広報担当者会出席報告
5. 令和5年度歯科医療従事者技術向上支援研修会開催報告
6. 令和5年度第2回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会出席報告
7. 第40回日本障害者歯科学会第2回社員総会・会員総会・学術大会出席報告
8. 医療機能情報提供制度に係るG-MIS新規ユーザー登録申請の周知について
9. 学術講演会（江崎グリコ株式会社）の案内について
10. 令和5年度公益社団法人日本学校歯科医会会長表彰被表彰者の決定について
11. オンライン請求への移行を促進するための周知広報資料等の送付について
12. 令和5年度学校歯科保健関係の地方交付税措置の主な内容について
13. フリーランス・事業者間取引適正化法等に関する周知等について
14. 噛むカムチェックガムに関するアンケートについて
15. 「日本糖尿病協会登録歯科医のための講習会」への協力依頼について
16. 職業紹介事業者を安心して利用するために
17. 委員会報告
 - ①センター ②学校歯科 ③学術
 - ④医療管理・医業経営 ⑤調査広報

V. その他

1. 会員の日本歯科医師会退会の意見書について
2. センター診療状況について
3. 令和5年度小規模県歯科医師会アンケート調査について
4. 各委員会の活動報告・委員紹介について

5. 非常用発電装置の自動電圧調整器の取替について
6. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会の協賛依頼について
7. 沖縄県那覇警察署捜査関係事項照会署について
8. 職員の給与表について
9. 障害者支援施設からの職員への口腔ケア研修・歯科健診と歯科治療の問い合わせについて

■ 令和5年度 第12回定時理事会（通算17回）令和5年12月12日（火）午後12時45分 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 第57回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会の後援について

II. 議事事項

- 第1号議案 公益社団法人沖縄県小児保健協会委員就任に関する件
- 第2号議案 8020推進運動『いい歯キラメキ2025』キャンペーン主催依頼(サンスター株式会社)に関する件
- 第3号議案 令和5年度「健康おきなわ21」推進協議会構成員の推薦に関する件
- 第4号議案 歯科医療従事者の表彰推薦（勤務30年以上）に関する件
- 第5号議案 口腔咽頭カンジダ症治療剤「オラビ錠口腔用50mg」DI説明会（久光製薬株式会社）実施依頼に関する件
- 第6号議案 九州各県担当者会役員旅費に関する件

III. 協議事項

1. 令和6年度事業計画について

IV. 報告事項

1. 第87回全国学校歯科保健研究大会出席報告
2. 沖縄県老人クラブ連合会健康づくり支援事業リーダー養成講習会講師報告
3. 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会出席報告
4. 令和5年度第2回沖縄県社会福祉協議会評議員会出席報告
5. 毎月勤労統計調査（第一種事業所調査）への調査協力に係る管下事業所への周知・協力依頼について
6. 「沖縄県歯科診療ネットワーク」マニュアルの改定について
7. 酸化エチレン（エチレンオキサイド）の使用・排出実態把握について
8. 第57回沖縄県母子保健大会県知事表彰の決定について
9. 第57回沖縄県母子保健大会における大会長表彰の決定について
10. 第55回沖縄県公衆衛生大会における被表彰者決定について
11. 令和5年度沖縄県医事功労者知事表彰の決定について
12. 掛金見直し（歯科医師国民年金基金）に関する周知依頼について
13. 「沖縄県血液等暴露後HIV感染予防薬整備事業」の周知について
14. オンライン資格確認等システムの運用開始日の入力をお願いについて
15. 訪問診療等・オンライン診療等におけるオンライン資格確認（居宅同意取得型）導入に関するリーフレットの送付について
16. 「「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に案するQ&Aについて」の相手医について
17. 「マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援（案）」について
18. 令和5年度がん教育等外部講師連携支援事業「がん教育シンポジウム」の開催について
19. 沖縄県がん対策推進計画の変更に係る県民意見の募集について
20. 県民が安心して暮らせるための四師会協議会医療・介護人材の育成・確保対策ワーキンググループ第4回在宅ノウハウ連携研修「在宅医療はワンチームで ～認知症～」の配信について
21. 日本歯科医師会会員限定キャッシュレスサービス「Pay Light by stera」の手数料率の引き下げについて
22. 「令和5年度沖縄平和賞シンポジウム」に係る周知依頼について
23. 身元不明遺体に関する捜査協力依頼について
24. 令和5年度生涯研修セミナー（Bチーム・第2回）について

25. グレースビット錠50mgの限定出荷に関するお詫びとお知らせについて
26. 新型コロナウイルス感染症対応「日本歯科医師会休診補償制度」について
27. 社会保険診療報酬点数表早見表について
28. 個人立の医療機関等が参加法人等として参加できる地域医療連携推進法人に関する留意点について
29. 委員会報告
 - ①学校
 - ②地域保健

V. その他

1. 業務委託契約書（旧大城マネジメント研究所）変更について
2. センター診療状況について
3. 令和5年度第3回中央区多職種連携研修会における講師派遣について
4. 令和5年度第2回九州各県歯科医師会専務理事会における提出講義題について
5. 九地連協議会提出協議題について
6. 令和5年度厚生労働省老人保健健康増進事業「認知症患者の口腔管理体制に関する調査研究事業」に関するアンケート調査への協力依頼について

■ 令和5年度 第13回 定時理事会（通算18回）令和5年12月26日（火）午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第1種会員）の入会について
2. 沖縄県歯科医師会疾病共済金申請について

II. 議事事項

- 第1号議案 厚生分野に係る令和6年秋の叙勲及び褒賞候補者の推薦等に関する件
- 第2号議案 令和5・6年度歯・口の健康普及啓発キャラバン（講師派遣）事業の案内に関する件
- 第3号議案 センター委員の増員に関する件
- 第4号議案 H P（SNS含む）活用計画策定臨時委員会設立に関する件

III. 協議事項

1. 令和6年度事業計画について

IV. 報告事項

1. 九州沖縄地区医療安全に関するワークショップ出席報告
2. 令和5年度自殺未遂者ケア研修「第2回かかりつけ医版」開催のお知らせについて
3. 「いきいきなごみ体操」ポスターカレンダー掲示と配布の協力依頼について
4. 電子レセプトの請求に併せ「紙媒体等で提出される資料」の取扱いの変更について
5. 令和6年度診療報酬改定の改定率について
6. 医療機器に係る物流2024年問題等により生じうる課題と対応策について
7. 沖縄県医療推進協議会決議事項について
8. インボイス制度に関する周知等について
9. オンライン資格確認などシステム及びオンライン請求システムに係る電子証明書の更新手続き及び郵送手数料について
10. ヤクルト本社東日本支店等による歯科啓発チラシ（第14弾）について
11. 令和5年度厚生労働行政推進調査事業（地域医療基盤開発推進研究）「歯科技工における多職種連携の有効性に関する研究」におけるアンケートへの協力依頼について
12. 委員会報告
 - ①保険
 - ②学校歯科
 - ③センター
 - ④医療管理・医業経営
 - ⑤調査広報
 - ⑥学術

V. その他

1. センター診療実績について
2. 日新製糖の取引先審査申請書について
3. 久光製薬の日程について

■ 令和5年度 第14回 定時理事会(通算19回)令和6年1月16日(火) 午後12時45分 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会共済金災害給付申請について
2. 沖縄県歯科医師会会員の退会について

II. 議事事項

- 第1号議案 令和6年度事業計画に関する件
第2号議案 令和5年度第2回、3回沖縄CDE会講演会共催に関する件
第3号議案 地域保健委員会の委員の増員に関する件

III. 協議事項

特になし

IV. 報告事項

1. 沖縄県災害医療コーディネート研修出席報告
2. 令和5年度登院式開催報告
3. 令和5年度歯科衛生士学校奨学金授与式開催報告
4. 令和5年度第3回沖縄県保険者協議会出席報告
5. 令和5年度第14回日本歯科衛生士教育学会出席報告
6. 令和5年度歯科衛生士専任教員講習会VI出席報告
7. 第14回沖縄HIV臨床カンファレンス開催について
8. 母子健康手帳の任意記載事項様式について
9. 令和6年能登半島地震への義援金のお願いについて
10. 令和6年能登半島地震における医師等の保健医療従事者の派遣及び薬局における調剤にかかる費用の取扱いについて
11. 令和6年能登半島地震への災害歯科支援チームの派遣について
12. 第63回全日本学校歯科保健優良校表彰(令和6年度)の募集について
13. 日本産業衛生学会九州地方会歯科保健部会2023年度第会研修会開催のお知らせについて
14. 第5・6回日本口腔衛生学会認定地域口腔保健実践者研修会の開催について
15. 令和6年度診療報酬改定の改定項目に係るパブリックコメントの募集について
16. 沖縄県歯科口腔保健推進計画「歯がんじゅうプラン(第2次)」(案)について
17. 委員会報告
①学校 ②学校教務

V. その他

1. センター診療実績について
2. 令和5年度第2回九地連協議会提出協議題の回答について
3. Touch On Time レコーダーの見積もりについて
4. 離島地区会員の新年会参加について

■ 令和5年度 第15回 定時理事会(通算20回)令和6年1月30日(火) 午後8時 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会疾病共済金給付申請について

2. 沖縄県歯科医師会死亡共済金給付申請について
3. 沖縄県歯科医師会会員の退会について
4. 令和6年度沖縄県不正大麻・けし撲滅運動、令和6年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び令和6年度沖縄県麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動の協賛後援名義使用について

II. 議事事項

- 第1号議案 令和6年度定時代議員会開催日程に関する件
- 第2号議案 新小学1年生おめでとうプレゼント紙面企画に関する件
- 第3号議案 令和6年度沖縄県北部及び離島地域の歯科衛生士確保事業補助金補助対象者認定審査会の開催に係る委員の推薦に関する件
- 第4号議案 「対馬丸記念館の20周年を支える会」呼びかけ人就任依頼に関する件
- 第5号議案 沖縄県歯科医師会推奨商品への選定継続申請（株式会社ロッテ）に関する件
- 第6号議案 沖縄県歯科医師会推奨商品への選定申請（株式会社ロッテ）に関する件
- 第7号議案 松川拡幹先生の障害者歯科学会実行委員会メンバーへの招集に関する件

III. 協議事項

特になし

IV. 報告事項

1. 令和5年度医療事故調査制度研修会出席報告
2. 第4回定例監査報告
3. 販売中止品目について
4. 貴地区の公立小学校における学校歯科保健に関するアンケート調査について
5. 第32回日本学校歯科保健・教育研究会の開催について
6. 九州老年歯科フォーラムin熊本の周知依頼について
7. 高齢者就業確保措置の実施について
8. 第三者行為求償事務に関する協力について
9. 令和5年度厚生労働省委託事業「地域・職域連携の推進及び青壮年期におけるヘルスリテラシー向上のためのプラネットフォーム開発調査等事業」地域・職域連携に関するイベントのお知らせについて
10. 40歳未満の事業主健診結果情報に関する閲覧用ファイルの詳細な仕様及び提出に関する際周知等について
11. 令和6年能登半島地震災害への義援金のお願いについて（第2次受付）
12. 令和6年能登半島地震への災害歯科支援チームの派遣状況について
13. 「令和6年度における指導監査等」並びに「集团的個別指導における出席者の取扱い」について
14. 支払関係帳票のオンライン配信のお知らせについて
15. 第81回全国小学生歯みがき大会募集開始について
16. 委員会報告
 - ①学校歯科 ②地域保健・P64 ③学校
 - ④センター ⑤医療管理・医業経営
 - ⑥保険 ⑦広報

V. その他

1. センター診療実績について
2. 地震保険の説明会について
3. 派遣旅費について
4. 理事会の開催形式について
5. PEEKについての会員啓発について
6. シーアイデキストランミックス（日新製糖株式会社）について
7. 学校情報検索サイト（WEB版）について

編集後記

最近の楽しみといえばもっぱらサッカー観戦である。

『三苦の1mm』日本が歓喜した瞬間。強豪スペインに勝利し2大会連続決勝トーナメント進出を決めた。FIFAワールドカップカタール大会から早や1年が経過した。

今、サムライブルー（サッカー男子日本代表）はアジアの頂点を目指し、同じカタールの地でAFCアジアカップを激戦中である。

さて、サムライブルーと言えばキャプテンの遠藤航選手から目が離せない。ポジションはミッドフィルダー、攻守の要である。

彼は、サッカー5大リーグの1つ独国ブンデスリーガにおいて2シーズン連続「デュエル王」の偉業を達成している。所属したシュトゥットガルトでも主将を務めていた。ちなみにサッカーにおけるデュエルとは1対1の戦いで相手に勝つ、守り切ることである。

現在は、本場英国プレミアリーグで首位に立つリバプールでチーム史上初となる7試合連続先発出場を果たす活躍である。

近年マウスガードを試合で使用するサッカー選手を見かけるようになった。

遠藤航選手もその一人である。日本代表で戦うときは青色のマウスガードを装着している。彼は「マウスピース無くしたら、デュエルに行けなくなるかも。」と語っている。

この拙文が晒される頃は、サムライブルーがアジアの頂きに立った歓喜の余韻に浸り酔いたいものだ。

砂川和徳

沖縄タイムス「歯の長寿学」 原稿募集について

沖縄県歯科医師会は、月1で沖縄タイムスの「歯の長寿学」欄に会員の先生のコラムを掲載しています。

内容は、歯の健康にまつわる事なら、なんでも構いません。報酬はありませんが、医院名や先生のお名前は掲載されますので、イメージアップにつながるかと思います。

1. 掲載内容：歯の健康について(分かりやすく中学生が理解できる程度で、面白い内容をお願いします)
2. 文字数：800字
3. 掲載日：第3水曜日
4. 送付先：沖縄県歯科医師会事務局
・メール：okisi@okisi.org ・Fax：098-996-3562 ・郵送：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-1
5. 原稿料：なし

*誠に申し訳ありませんが、原稿の採用および掲載日については、広報委員会に一任頂きたいと思っております。

*同じタイトルや同じような内容の投稿に関しては、掲載されないこともあります。

*掲載が決まりましたら事前に校正していただくことがございます。

*ご不明な点がございましたら、事務局または広報委員までお問い合わせください。

沖縄県歯科医師会HPについて

沖縄県歯科医師会のホームページ(<http://www.okisi.org/>)では、「歯医者をさがす」のコーナーで、会員の先生方の医院の紹介をしています。内容に誤りや変更がある場合、訂正いたしますので、事務局までご連絡ください。

また、ホームページ全体の改善点やご要望がありましたら、事務局または広報委員まで、ご意見お寄せください。

広報委員：平良 和枝、上地 栄作、上原かんな、島袋 亮、砂川 和徳、張江 昌宏

令和6年1号

印刷日：令和6年2月10日

発行日：令和6年2月10日

発行人：(一社)沖縄県歯科医師会

☎098 (996) 3561

<http://www.okisi.org/>

編集人：平良 和枝

印刷：(株)ちとせ印刷

E-mail chitose.f@gamma.ocn.ne.jp

8020達成者認定証の発行について

平素より本会会務運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、このたび本会では会員からご推薦いただいた8020達成者に標記の認定証を発行する事といたしました。

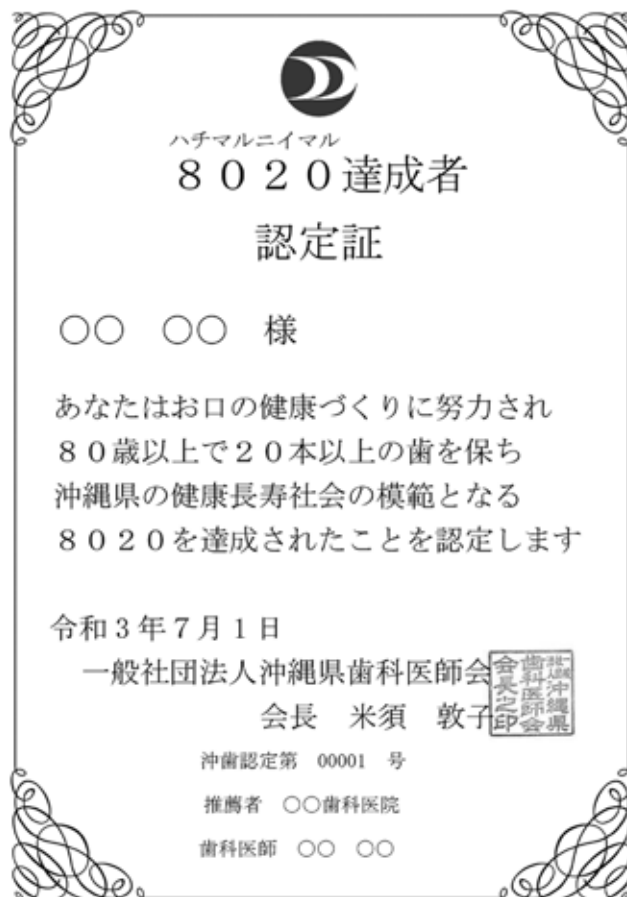
つきましては、該当者がいらっしゃいましたら別添の推薦様式にて、ご推薦いただきたく存じます。

過去に8020表彰を受けていらっしゃる方も認定証という事で改めて対象になります。

認定証は会員診療所に送付いたしますので、会員から達成者にお渡しいただきたく存じます。

会員各位のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

見本



連絡先

沖縄県歯科医師会事務局

TEL : 098-996-3561 FAX : 098-996-3562

8020達成者推薦書

沖縄県歯科医師会会長 殿

推薦者

医院名： _____

氏名： _____

令和 年 月 日

以下の通り推薦申し上げます。

8020達成者推薦書		
氏名	ふりがな	性別
		男・女
生年月日(年齢)	明・大・昭 年 月 日 () 歳	
ご本人連絡先	住 所	〒(-)
	電話番号	
現在歯数	本	
自立状態 (あてはまるものに○)	① 自力歩行可 ② 介助有りて歩行可 ③ 車いす ④ 外出困難 ⑤ その他 ()	
補綴状態 (あてはまるものに○)	① 不 要 ② 良 好 ③ 要 改 善	
特記事項		

※県歯事務局へ郵送またはFAXにてご提出ください
(FAX : 098-996-3562)

会員動向

会員：令和6年1月1日 現在507人

内 訳

種 別	男	女	計
1 種 会 員	309	44	353
2 種 会 員	15	3	18
3 種 会 員	35	16	51
4 種 会 員	1	0	1
終 身 会 員	72	12	84
計	432	75	507

正会員地区別

地 区	男	女	計
北 部 地 区	23	1	24
中 部 地 区	119	16	135
南 部 地 区	223	35	258
宮 古 地 区	15	7	22
八 重 山 地 区	16	0	16
計	396	59	455

入・退会状況（1種・2種・終身）（正会員）

種 別	男	女	計
入 会 者	1	0	1
退 会 者	0	1	1
計	1	-1	0

入・退会状況（3種・4種準会員）

地 区	男	女	計
入 会 者	0	0	0
退 会 者	1	0	1
計	-1	0	-1

退会会員（1名）

氏 名	日 付	理 由
仲 本 道 子	令和5年11月30日	一身上の都合 南部地区1種会員

異動会員（1名）

氏 名	日 付	理 由
大 城 健	令和5年12月1日	3種会員→1種会員（南部地区）

会員動静（新入会員1名）

氏 名	生年月日	医 院 名	就 業 所 所 在 地	出 身 校	卒 業 年 月	会 員 種 別	入 会 日
大 城 健	S57.5.2	ZEN DENTAL CLINIC	糸満市字潮平714-2 2F	明海大学歯学部	H23.3	1種会員	令和5年12月1日

令和6年度における診療報酬の支払予定日

納入月 ・ 支払月	診療報酬	
	保険者から基金への 納入期日	基金から医療機関への 支払日
令和6年 4月	4月19日(金)	4月22日(月)
5月	5月20日(月)	5月21日(火)
6月	6月20日(木)	6月21日(金)
7月	7月19日(金)	7月22日(月)
8月	8月20日(火)	8月21日(水)
9月	9月19日(木)	9月20日(金)
10月	10月21日(月)	10月22日(火)
11月	11月20日(水)	11月21日(木)
12月	12月19日(木)	12月20日(金)
令和7年 1月	1月20日(月)	1月21日(火)
2月	2月20日(木)	2月21日(金)
3月	3月19日(水)	3月21日(金)

令和6年度 レセプト受付日と診療報酬等支払日(国保)

	レセプト受付協力日	レセプト受付締切日	診療報酬等の支払日
令和6年4月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和6年5月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和6年6月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和6年7月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和6年8月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和6年9月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和6年10月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和6年11月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和6年12月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和7年1月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和7年2月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和7年3月	7日(金)	10日(月)	21日(金)

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められています)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までです。

※ 12月は早期提出に御協力をお願いします。

※ 令和6年6月8日(土)、6月9日(日)、11月9日(土)、令和7年2月8日(土)、2月9日(日)、3月8日(土)、3月9日(日)は、閉所となりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、安全確実な方法にて毎月1日~10日必着をお願いします。

お問合せ先
沖縄県国民健康保険団体連合会
TEL 098-863-2473 (審査課)

